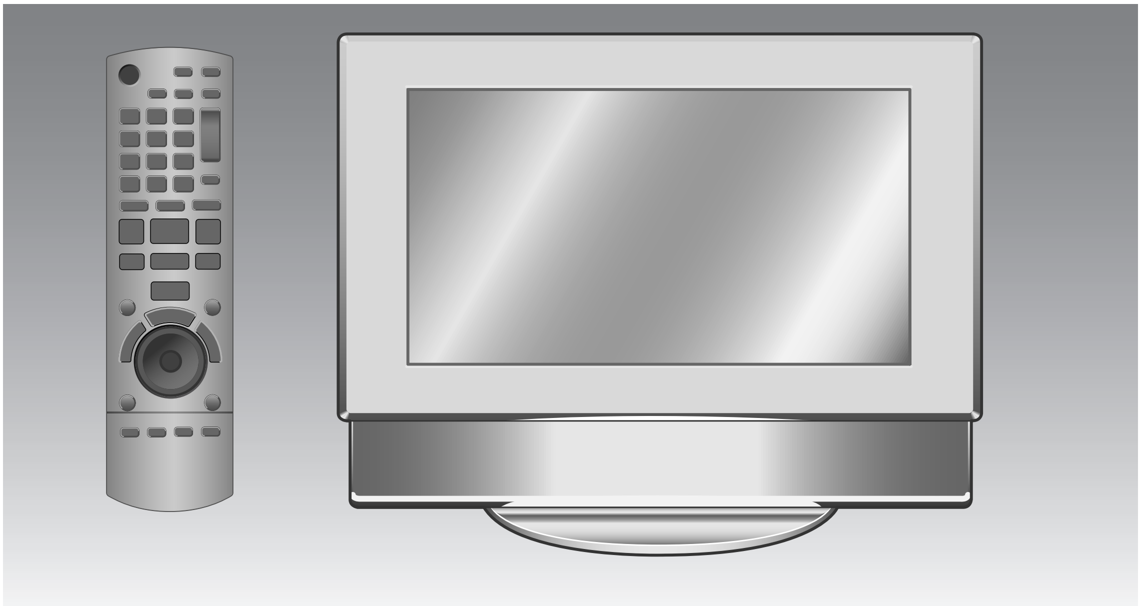
Panasonic

取扱説明書

マルチメディアオーディオシステム

品番　MW-10
MW-7



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（→41 ～ 43 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日·販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

困ったときは？

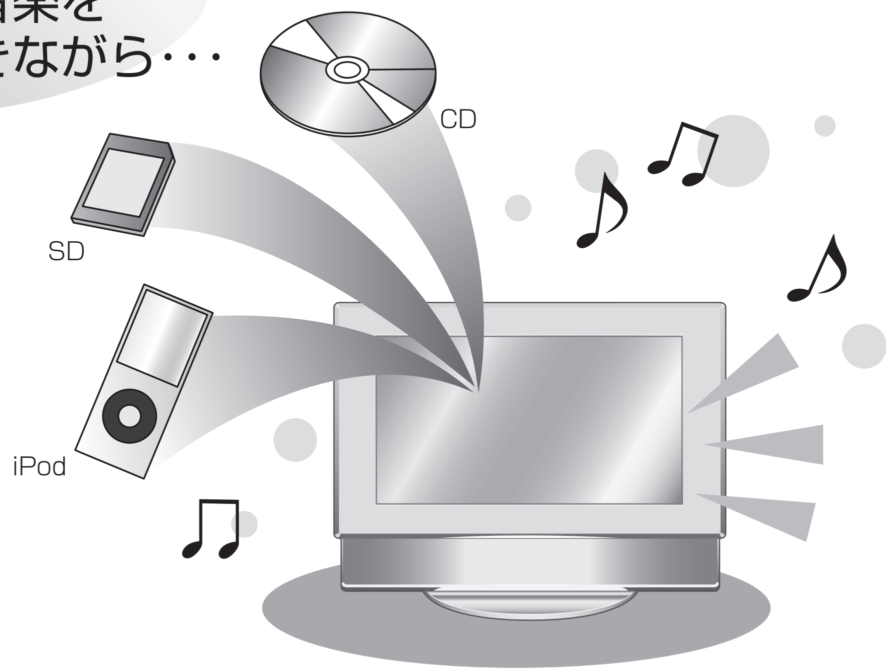
Q&A（よくあるご質問）→37 ページ
こんな表示が出たら →38 ページ
故障かな !? →39 ～ 40 ページ

保証書別添付

RQT9503-3S

本機ではこんなことができます

好きな音楽を
聴きながら・・・



お気に入りの写真を再生！

SD カード、内蔵メモリー、CD に入っている
JPEG 写真を再生できます。



➔ オーディオを聴く…14 ～ 23 ページ
➔ 写真を見る…………24 ～ 30 ページ

ディスプレイの表示デザインを気分に合わせて選べる！



7 種類の表示モードと、12 種類の時計・カレンダーデザインが選べます。

➔「本機の画面表示について」…12 ページ

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください
（➔ 41 ～ 43 ページ）

準　備

はじめに

オーディオを聴く

写真を見る

各種設定など

必要なとき

本書の説明について

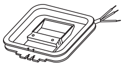
- 本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 本書内のイラストは、MW-10 を中心に説明しています。

付属品

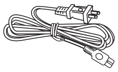
付属品を確認してください



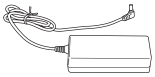
□ FM 簡易型アンテナ（1 本）
【RSAX0002】



□ AM ループアンテナ（1 本）
【N1DYYYY00009】



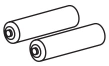
□ 電源コード（1 本）
【K2CA2CA00024】



□ AC アダプター（1 コ）
【RFEA220J】



□ リモコン（1 コ）
MW-10 【N2QAYB000451】
MW-7 【N2QAYB000459】



□ リモコン用乾電池
（単 3 形、2 本）



□ 転倒防止ベルト（1 本）
【TKLA3401】



□ 木ねじ（1 コ）
【XTW4+16AFJK】



□ 転倒防止ベルト用ねじ（1 コ）
【RHD30165】

お知らせ

- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- カッコ【　】内は、2009 年 8 月現在の品番です。品番は変更されることがあります。
- 付属品の形状は異なる場合があります。

付属品と別売品（➔ 36 ページ）は販売店でお買い求めいただけます。パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic PanaSense http://club.panasonic.jp/mall/sense/

内蔵メモリー / CD/SD について

■ 内蔵メモリーについて

定期的にバックアップ（保存）する

静電気や電磁波、破損、故障などで大切なデータが消失しないように、パソコンや SD カードへの定期的なバックアップをおすすめします。

- 本製品の使用、または不具合や故障により生じた内蔵メモリーの内容の補償につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を修理すると、内蔵メモリーはお買い上げ時の状態に戻る場合があります。

■ CD について

COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものをご使用ください。（8 cm と 12 cm）

ただし、ハート型など、特殊形状の CD はご使用にならないでください。（機器の故障の原因になります。）

上記ロゴマークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用ください。また、違法にコピーしたディスクや規格外ディスクについては再生を保証していません。DualDisc（デュアルディスク：両面にオーディオや映像などの情報が書き込まれたディスク）の再生は保証しておりません。

● CD-R と CD-RW の再生

CD-DA や JPEG のフォーマットで記録された CD-R と CD-RW の再生に対応しています。記録終了時にファイナライズ※が必要です。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

※ CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

本機での使用制限

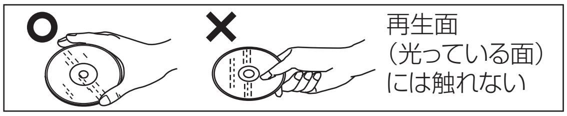
- 使用できるフォーマット：ISO9660 level 1 および level 2（拡張フォーマットを除く）、Joliet
- マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと読み込みに時間がかかる、もしくは読み込めないことがあります。セッション数は少なくすることをおすすめします。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- ディスクの 6 階層目までのフォルダにあるファイルを再生できます。
- 最大ファイル数 1000 まで再生を保証しています。
- 同一ディスクで JPEG と CD-DA の両形式が記録されている場合、最初のセッションに記録されている形式のみ再生します。

● 取扱上のお願い

CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

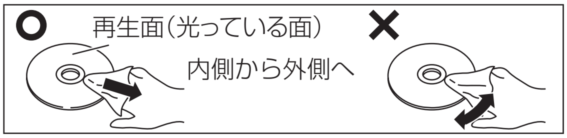
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

● 持ちかた



● 汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



● 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

● CD を良い音でお楽しみいただくために

別売の CD レンズクリーナーで時々清掃されることをおすすめします。

■ SD について

● 本機で使用できる SD カード

カードの種類（当社製を推奨）	
SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB）	SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされたもの
SDHC メモリーカード（4 GB ～ 32 GB）	SD 規格に準拠した FAT32 形式でフォーマットされたもの
miniSD/ miniSDHC カード	本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。（➜ 10 ページ）
microSD/ microSDHC カード	

最新情報は　http://panasonic.jp/support/audio/ で確認してください。

- マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
- 使用可能領域は表示容量より少なくなります。
- 本機は、SD オーディオ規格に準拠した SD/SDHC メモリーカードの再生・記録に対応していますが、すべての SD/SDHC オーディオ対応機器との動作互換を保証するものではありません。

  動作確認済み機器について、くわしくは下記ホームページにてご確認ください。
  http://panasonic.jp/support/audio/

- 本機（SDHC 対応機器）は SD メモリーカード / SDHC メモリーカード両方に対応しています。SDHC メモリーカードは SDHC メモリーカード対応の機器で使用できますが、SD メモリーカードのみに対応した機器では使用することができません。SDHC メモリーカードをパソコンなど他の機器でお使いの場合は、必ずその機器の説明書をお読みください。

● SD オーディオフォーマット

「SD オーディオフォーマット」とは、音楽データの著作権保護を目的として採用している暗号化技術のことです。

「SD オーディオフォーマット※」で記録された音楽データのみ再生できます。

※ SD アソシエーションにて制定された SD メモリーカードのオーディオ規格です。エンコード形式は、AAC、MP3 または WMA です。

• Windows Media Audio 9 (WMA9) 対応

ただし、Professional, Lossless, Voice 及びマルチプルビットレート（一つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式）には対応していません。

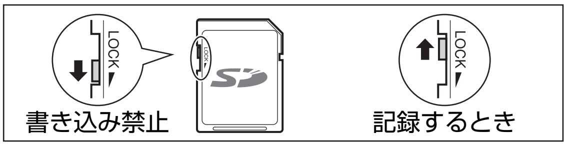
● オーディオの著作権保護のために

著作権保護と、オーディオ文化の健全な発展と、正当な購入者の権利保護のために、暗号技術を利用した SDMI（セキュア・デジタル・ミュージック・イニシアティブ）に対応しています。

コピー制限情報が埋め込まれている場合、取り扱えないことがあります。

● 大切なデータを保護するために

書き込み禁止スイッチを「LOCK」にします。新たに記録するときは解除してください。



● 取り扱い上のお願い

- 保管時は、必ずケースに収納する。
- 分解や改造をしない。
- 貼られているラベルをはがさない。
- 新たにラベルやシールを貼らない。
- 裏面の金属端子部を手や金属で触れない。

■ SD カードや本機を廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機の「消去」やパソコンの「フォーマット」「削除」などでは、ファイル管理情報が変更されるだけで、SD カードや内蔵メモリー内のデータは完全には消去されません。

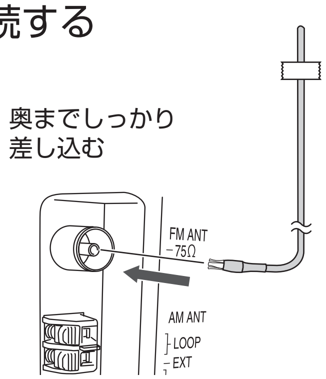
SD カードを廃棄 / 譲渡する際は、SD カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使って SD カード内のデータを完全に消去することをおすすめします。

本機を廃棄 / 譲渡する際は、「物理フォーマット」（➜ 35 ページ）を行ってください。

SD カードや内蔵メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

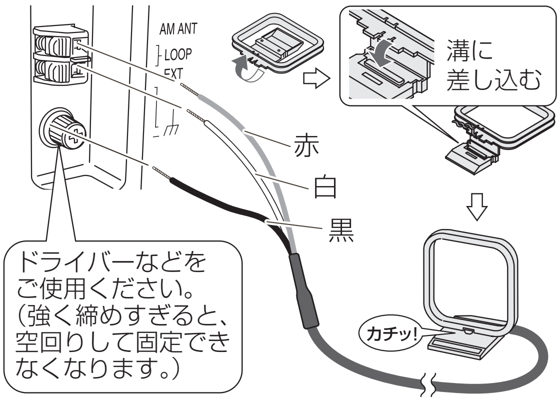
アンテナの接続と本機の置きかた

FM 簡易型アンテナを接続する

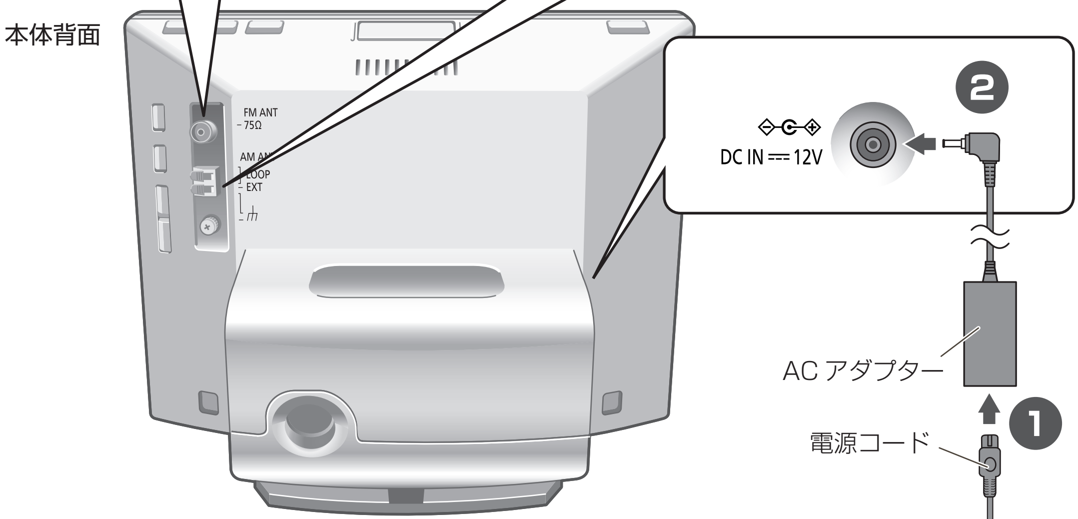


つないだあと、実際に放送を受信してみて（➔21 ページ）雑音の少ない位置で、壁や柱にテープで止めます。

AM ループアンテナを接続する



つないだあと、実際に放送を受信してみて（➔ 21 ページ）雑音の少ない位置に置きます。



電源コードを接続する

❶ AC アダプターと電源コードを接続する

❷ AC アダプターを本体に接続する

❸ 電源コードを家庭用電源コンセントに接続する



■ 電源コードを抜くときは

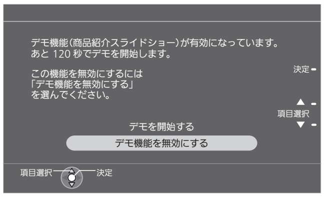
① [電源 ⏻/I] を押して電源を切る

② ディスプレイの表示が消えてから電源コードを抜く

お知らせ

• 使用中は AC アダプターが多少熱くなりますが、異常ではありません。

電源コードを接続すると



お買い上げ時にはじめて電源コードを接続すると、自動的に電源が「入」になり、上の画面が表示されます。

デモ機能※を設定しない場合は、本体の[⏮/◀◀]［▶▶/⏭］で「デモ機能を無効にする」を選び、[▶/❚❚］を押してください。

有効にした場合や、上の画面で 2 分以上操作をしなかった場合はデモ機能が開始されます。デモ表示中に何かボタンを押すと、標準画面（➔ 12 ページ）になります。

- デモ機能は、本機の設定でも有効 / 無効の設定ができます。（➔35ページ）また、CD/SDの停止中、iPod の一時停止中やセレクターが FM/AM のとき、本体の［表示モード］を 2 秒以上押したままにすることでも有効 / 無効の切り換えができます。

※ デモ機能とは、表示部に本機のかんたんな機能説明が表示される機能です。

■よりよい音響効果を得るために

音は本機の置きかたによって変わります。例えば床の上や部屋の隅に置くと低音が増します。下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。

- しっかりした、平らで安定した場所に設置する。
- スピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする。また周りの反射をできるだけ少なくする。（例えば、左右は壁から離す。堅い壁やガラス窓には厚地のカーテンなどを掛ける。）
- 後ろの壁から 5 cm 以上離して設置する。

お願い

- **本機のスピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコンなどの近くに置かないでください。**
- **大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。**
- **通常の使用時でも音がひずんだときは、音量を下げてご使用ください。（音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります。）**

お知らせ

- スピーカーネットは取り外しができません。

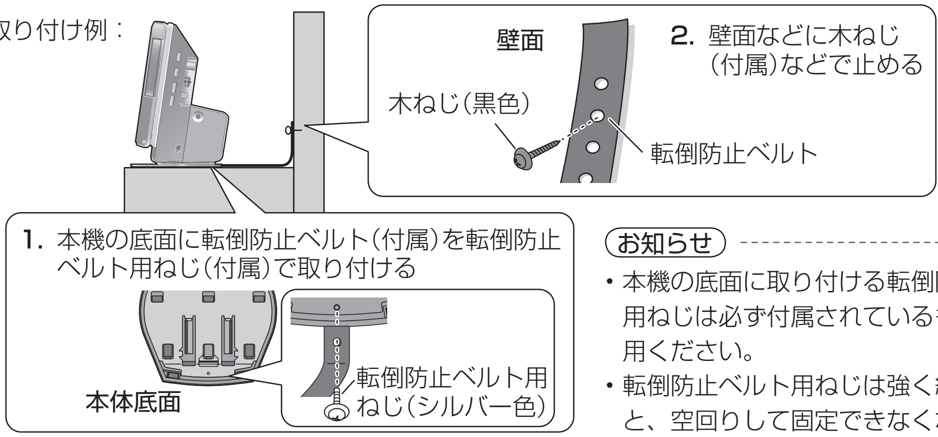
本機の設置について

● 本機を台などの上に置くときは、ディスプレイ部を開いたときに台などから出ないように設置してください。台の端に置くと、ディスク交換時に転倒・落下する場合があります。



● 奥行きの短い台などの端に本機を置く場合は、転倒防止ベルト（付属）を使って固定することができます。

取り付け例：

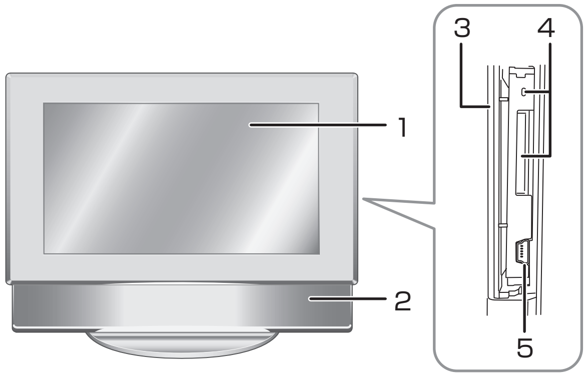


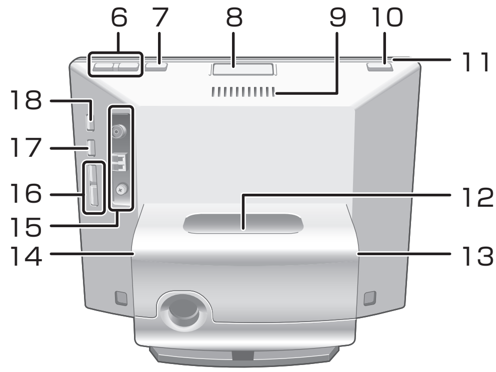
お知らせ

- 本機の底面に取り付ける転倒防止ベルト用ねじは必ず付属されているものをご使用ください。
- 転倒防止ベルト用ねじは強く締めすぎると、空回りして固定できなくなります。

各部のはたらき

■ 本体





1. ディスプレイ部
2. スピーカー部
3. SD ふた（➔ 10 ページ）
4. SD 挿入部 /SD ランプ
   点灯：SD が入っているとき
   点滅：SD に書き込み中
5. USB 端子（➔ 33 ページ）
6. 音量を調節する
7. 表示モードを切り換える（➔ 12 ページ）
8. ［CD 開 ▲］CD 部開ボタン（➔ 10 ページ）
9. 通気孔
10. ［電源 ⏻/I］電源を入 / 切する
11. 電源ランプ
    点灯：電源「入」時
    消灯：電源「切」時
12. MW-10 のみ iPod 差し込み部（➔ 18 ページ）
13. AC アダプター端子（➔ 6 ページ）
14. ∩（ヘッドホン）端子（➔ 34 ページ）
15. FM/AM アンテナ端子（➔ 6、22 ページ）
16. ［⏮/⏪］［⏩/⏭］スキップやサーチする
    （➔ 14、16、18、20 ページ）/
    ラジオの周波数やチャンネルを切り換える
    （➔ 21、22 ページ）
17. ［▶/❚❚］オーディオを再生 / 一時停止する
18. ［オーディオセレクター］
    オーディオセレクターを切り換える
    （➔ 14、16、18、21 ページ）

お願い

- **SD ランプの点滅中は、絶対に SD カードを取り出したりしないでください。SD カードが使えなくなることがあります。**

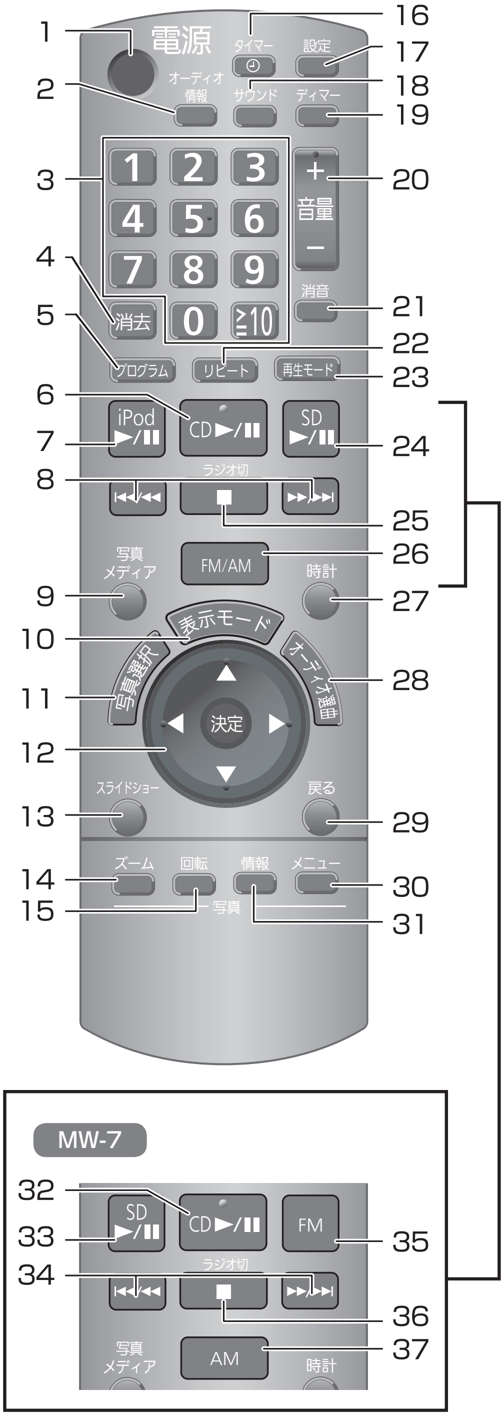
お知らせ

- ディスプレイ部を開いていると使える機能が制限されますので、ご使用時はディスプレイ部を閉じてください。また、ディスプレイ部を開けたままの状態で、操作が 10 分以上ない場合、自動的に電源は「切」になります。

■ 液晶画面について

ディスプレイ部の液晶画面は、精密度の高い技術で作られていますが、液晶画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤 / 青 / 緑の点）することがあります。これは故障ではありません。液晶画面の画素については 99.99 % 以上の高精度管理をしておりますが、0.01 % 以下で画素欠けするものがあります。これらの点は、SD カードや内蔵メモリーには記録されませんのでご安心ください。

■リモコン



1. 電源を入 / 切する
2. オーディオ情報を表示する
3. 番号を選ぶ（➜ 11、14、15、21、31、35 ページ）

• 10 以上を選ぶ
例：16　[≧ 10] → [1] → [6]
• 100 以上を選ぶ
例：235　[≧ 10] → [≧ 10] → [2] → [3] → [5]
• 入力を間違えたら［消去］を押す

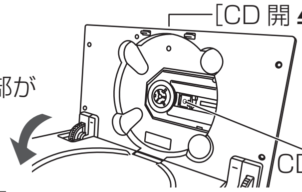
4. プログラム曲 / プリセット登録を消去する（➜ 15、21 ページ）
5. CD をプログラム再生する（➜ 15 ページ）/ ラジオを設定する（➜ 21 ページ）
6. CD を再生 / 一時停止する（➜ 14 ページ）
7. MW-10 のみ iPod を再生 / 一時停止する（➜ 18 ページ）
8. スキップやサーチする（➜ 14、16、18、20 ページ）/ ラジオの周波数やチャンネルを切り換える（➜ 21、22 ページ）
9. 写真メディアを切り換える（➜ 24 ページ）
10. 表示モードを切り換える（➜ 12 ページ）
11. 写真を選択する
12. 選んで決定する
13. スライドショーを見る
14. 写真をズームする
15. 写真を回転する
16. タイマーを設定する（➜ 31 ページ）
17. 本機の設定をする（➜ 34 ページ）
18. 音場・音質効果を設定する（➜ 23 ページ）
19. 画面の明るさを設定する
20. 音量を調節する
21. 一時的に消音する
22. オーディオをリピートする
23. オーディオの再生モードを設定する（➜ 14、17、18 ページ）/ ラジオのチューニングモードを切り換える（➜ 21、22 ページ）
24. SD を再生 / 一時停止する（➜ 16 ページ）
25. オーディオを停止する / ラジオを切る
26. FM/AM を受信する（➜ 21 ページ）
27. 時計 / カレンダーを表示する
28. 曲や放送局を選択する（➜ 14、16、19、21 ページ）
29. 前の画面に戻る / 写真をサムネイル表示する
30. 写真の設定メニューを表示する
31. 写真の情報を表示する
32. CD を再生 / 一時停止する（➜ 14 ページ）
33. SD を再生 / 一時停止する（➜ 16 ページ）
34. スキップやサーチする（➜ 14、16、18、20 ページ）/ ラジオの周波数やチャンネルを切り換える（➜ 21、22 ページ）
35. FM を受信する（➜ 21 ページ）
36. オーディオを停止する / ラジオを切る
37. AM を受信する（➜ 21 ページ）

各部のはたらき（つづき）

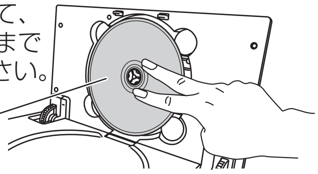
CD の入れかた /SD カードの入れかた

■CD の入れかた

① [CD 開 ▲] を押す



② CD を入れる



③ ディスプレイ部の上部を手で押して閉める

● CD を取り出すときは再生を止めてから、CD 部開ボタンを押して取り出してください。

お願い

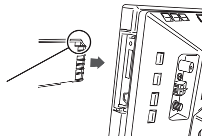
- **ディスプレイ部を開いたときに、手や物などを載せないでください。**
- **CD レンズに触れないでください。**

お知らせ

- ディスプレイ部を開けたときに、本体の内部が熱くなっていることがありますが、故障ではありません。

■SD カードの入れかた

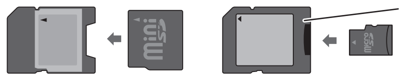
① SD ふたを開けて、SD カードを入れる



● SD カードを取り出すときは、SD カードを押して、出てきた SD カードをまっすぐ引き抜いてください。

② SD ふたを閉じる

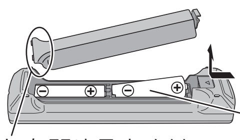
miniSD/microSD カードなどを使うときは専用アダプターが必要です。



リモコンの使いかた

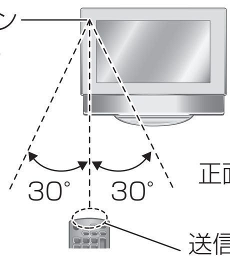
■ 乾電池（付属）の入れかた

リモコンのうら面



- ⊕、⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

■ リモコンの使用範囲



- 距離と角度はおよその数値です。

■ 使用上のお願い

- 受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受信部と送信部のほこりに注意する。

■ 本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

時計を合わせる

本機は時計・カレンダーの表示機能やタイマー機能を搭載していますので、初めに時計を合わせておいてください。

• 本機の時計は 24 時間表示です。

1 ［電源］を押す

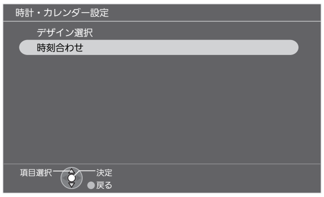
2 ［設定］を押す

設定メニュー画面が表示されます。

3 ▲/▼ で「時計・カレンダー設定」を選び、［決定］を押す



4 ▲/▼ で「時刻合わせ」を選び、［決定］を押す



5 ▲/▼/◀/▶ で「年」「月」「日」「時」「分」を設定する

◀/▶ で項目を選ぶ

▲/▼ で数字を選ぶ



●数字ボタンでも設定できます。

例）「9 月」 ：［0］ → ［9］

「30 日」：［3］ → ［0］

6 ［決定］を押す

時計が 00 秒からスタートして、標準画面（➔ 12 ページ）になります。

■一つ前の画面に戻るには

［戻る］を押す

■時刻合わせの誘導画面が表示されたら

時計が設定されていない状態で、時計設定が必要な機能の操作をすると、時刻合わせの誘導画面が表示されます。



① ▲/▼ で「時刻を合わせる」を選び、［決定］を押す

② ▲/▼/◀/▶ で「年」「月」「日」「時」「分」を設定する

③ ［決定］を押す

お知らせ

• 設定できるのは、2000 年 1 月から 2099 年 12 月までです。
• 時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。
• 電源コードを抜いたり、停電したときは、時計が合っているかどうか確認してください。

本機の画面表示について

本機はオーディオと写真を同時に再生することができます。写真の再生をしながら、オーディオの再生情報を同時に表示することも可能です。表示モードでは、表示画面の種類を 7 種類から選べます。また、時計やカレンダー画面のデザインは 12 種類から選べます。

本書では、下記の「オーディオ・写真画面」「時計・カレンダー画面」の画面を「標準画面」と説明しています。

表示モードを切り換える / 時計・カレンダーを表示する

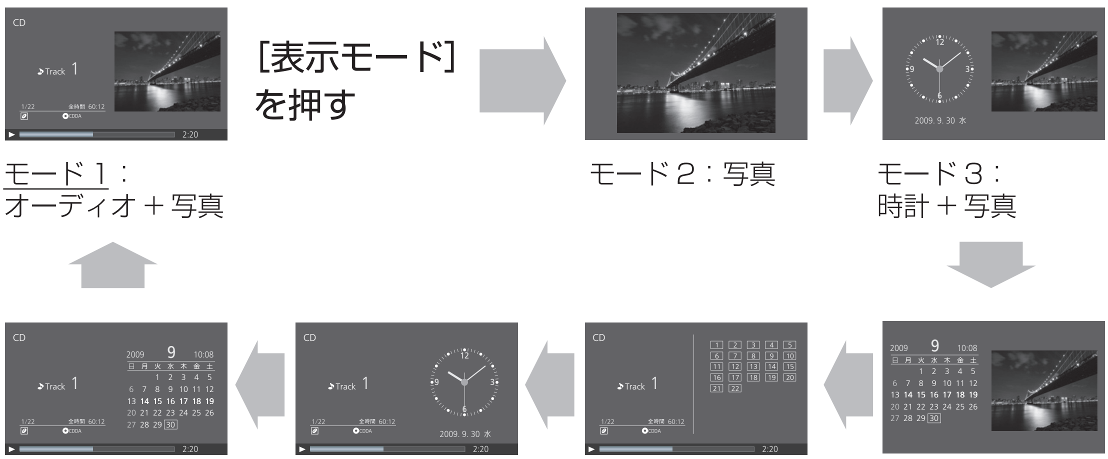
標準画面の表示中に、

[表示モード] を押す

押すたびに、下のように画面が切り換わります。

- 下線部はお買い上げ時の設定です。

オーディオ・写真画面



モード 1：オーディオ＋写真

モード 2：写真

モード 3：時計＋写真

モード 4：カレンダー＋写真

モード 5：オーディオ ※

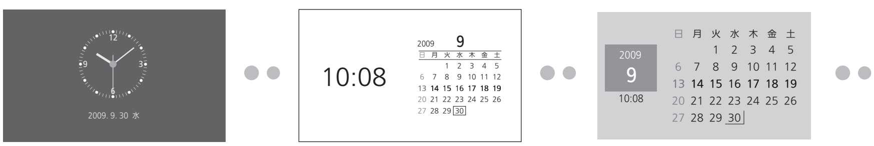
モード 6：オーディオ＋時計 ※

モード 7：オーディオ＋カレンダー※

※ [スライドショー] を押すなど、写真の操作をした場合は自動的にモード2の画面になります。

[時計] を押す　　[時計] を押す

時計・カレンダー画面



➔ 時計・カレンダーのデザインを選ぶには：13 ページ

オーディオ・写真画面での主な操作

写真の再生情報を表示する	▲を押す (「モード1」~「モード4」のみ)
オーディオの再生情報を表示する	▼を押す (「モード2」~「モード4」のみ)
時計・カレンダーを表示する	[時計] を押す

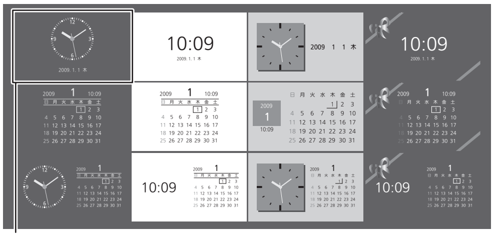
時計・カレンダー画面での主な操作

オーディオの再生情報を表示する	▼を押す
オーディオ・写真画面へ戻る	[表示モード] [戻る] [時計] のいずれかを押す (選んでいたオーディオ・写真画面に戻ります。)
カレンダーの翌月を表示する	カレンダー表示中に、 ▶を押す
カレンダーの前月を表示する	カレンダー表示中に、 ◀を押す

時計・カレンダー画面のデザインを設定する

画面のデザインは 12 種類の中から選べます。選んだデザインは、オーディオ・写真画面にも反映されます。

1. [設定] を押す
   設定メニュー画面が表示されます。
2. ▲/▼で「時計・カレンダー設定」を選び、[決定] を押す
3. ▲/▼で「デザイン選択」を選び、[決定] を押す
4. ▲/▼/◀/▶でデザインを選び、[決定] を押す



お買い上げ時の設定

■一つ前の画面に戻るには
[戻る] を押す

CD を聴く

本機で再生できるディスク	
市販のオーディオ CD（CD-DA）	○
CD-R/CD-RW（CD-DA）	○
CD-R/CD-RW（WMA/MP3）	×

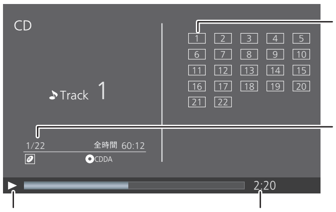
• 本機の音量を下げておく

1 音楽データの入った CD を入れる （➔ 10 ページ）

2 ［CD ▶/❚❚］を押す

セレクターが CD に切り換わり、再生が始まります。

例：オーディオ画面



再生中の曲（点滅）

現在の曲番 / 総曲数

再生状態

再生時間

● 本体で操作する場合、［オーディオセレクター］を数回押して「CD」を選び、［▶/❚❚］を押します。（オーディオセレクター切換画面で、リモコンの ▲/▼ でも「CD」を選べます。）



停止する	［■ ラジオ切］（停止）を押す
一時停止する	［CD ▶/❚❚］を押す • 再開するには、もう一度押す
曲を飛ばす（スキップ）	［⏮/◀◀］や［▶▶/⏭］を押す
早送り / 早戻しする（サーチ）	再生中 / 一時停止中に、［⏮/◀◀］や［▶▶/⏭］を聴きたい位置まで押したままにする
音量を調節する	［＋ 音量 －］を押す • 0（最小）～ 50（最大）

お知らせ

• 電源「切」の状態で、すでに CD が入っているときに［CD ▶/❚❚］を押すと、電源が入り CD の再生が始まります。（ワンタッチ再生）

• CD のサーチ中は音が聴こえません。

曲を探して聴く

1 ［オーディオ選曲］を押す

曲一覧が表示されます。

2 ▲/▼ で曲を選び、［決定］を押す

選んだ曲から再生が始まります。

● ▲/▼ の代わりに数字ボタンを押して選ぶこともできます。

好きな曲から聴く（ダイレクトプレイ）

標準画面表示中に、

数字ボタンを押す

➔ 10 以上を選ぶには：9 ページ

お知らせ

• プログラム再生（➔ 15 ページ）中は、ダイレクトプレイはできません。

再生モードを切り換える

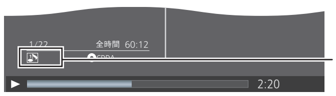
再生範囲を変えたり、順不同に再生することができます。

停止中や再生中に、

［再生モード］を押して再生モードを選ぶ

押すたびに：

ノーマル → 1 曲 → ランダム



再生モード

ノーマル	通常の再生をします。
1 曲	1 曲を再生します。
ランダム	CD の曲を順不同に再生します。

お知らせ

• ランダム再生中は、一度再生した曲へスキップできません。

• ランダム再生中のサーチは、再生している曲の中だけで行われます。

くり返し聴く（リピート再生）

リピート再生は、下記の再生方法と組み合わせることができます。

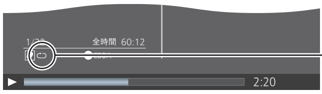
- 通常の再生（➜ 14 ページ）
- 再生モードを変えて再生（➜ 14 ページ）
- プログラム再生（➜ 下記）

停止中や再生中に、

［リピート］を押す

押すたびに：

リピート再生 → リピート解除



リピート再生

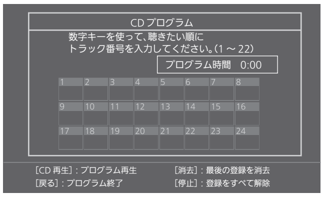
曲を選んで聴く（プログラム再生）

好みの曲を選んで、好きな順に聴くことができます。最大 24 曲までプログラムできます。

1 停止中に、

［プログラム］を押す

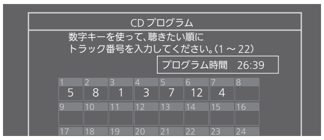
プログラム画面が表示されます。



2 数字ボタンを押して曲を選ぶ

➜ 10 以上を選ぶには：9 ページ

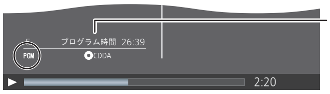
3 手順 ❷ をくり返して曲を選ぶ



25 曲以上プログラムしようとすると、「プログラム登録は 24 曲までです」が表示されます。

4 ［CD ▶/❚❚］を押す

プログラム再生が始まり、標準画面に戻ります。



プログラム再生の総演奏時間

停止する	［■ ラジオ切］（停止）を押す（プログラム内容は保持されます。）
通常の再生モードに戻す	プログラム再生の停止中に、［再生モード］を押す（プログラム内容は保持されます。） • ［プログラム］→［CD ▶/❚❚］を押すと、プログラム再生に戻ります。

■ プログラム曲を追加するには

プログラム画面の表示中に、左記手順 ❷ を行う

■ プログラムの最後の 1 曲を取り消すには

プログラム画面の表示中に、［消去］を押す

■ プログラムをすべて取り消すには

① プログラム画面の表示中に、
［■ ラジオ切］（停止）を押す

②「プログラム登録をすべて解除しますか？」が表示されるので、◀/▶ で「はい」を選び、［決定］を押す

お知らせ

- 電源を切ったり、セレクターを切り換えてもプログラム内容は保持されます。
- ディスプレイ部を開けると、プログラム内容は取り消されます。
- プログラム曲を選んで取り消すことはできません。
- プログラム再生中のサーチは、再生している曲の中だけで行われます。

オーディオ情報を見る

再生中や一時停止中に、

［オーディオ情報］を押す

1 曲の時間などが表示されます。



■ 標準画面に戻るには

［戻る］を押す

SD を聴く

> 本機で再生できるデータ形式
> 「SD オーディオフォーマット」で録音された音楽データ（AAC/WMA/MP3）のみ再生できます。

・本機では、SD への録音はできません。

➜ 音楽データの入った SD カードを作成するには：33、36 ページ

・本機の音量を下げておく

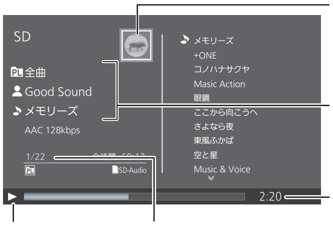
1 音楽データの入った SD カードを入れる（➜ 10 ページ）

●「SD カードメニュー」画面が表示された場合は、▲/▼ で「キャンセル」を選び、[決定]を押してください。（➜ 25 ページ）

2 ［SD ▶/❚❚］を押す

セレクターが SD に切り換わり、再生が始まります。

例：オーディオ画面



●本体で操作する場合、［オーディオセレクター］を数回押して「SD」を選び、［▶/❚❚］を押します。（オーディオセレクター切換画面で、リモコンの ▲/▼ でも「SD」を選べます。）

停止する	［■ ラジオ切］（停止）を押す
一時停止する	［SD ▶/❚❚］を押す ・再開するには、もう一度押す
曲を飛ばす（スキップ）	［⏮/◀◀］や［▶▶/⏭］を押す
早送り / 早戻しする（サーチ）	再生中 / 一時停止中に、［⏮/◀◀］や［▶▶/⏭］を聴きたい位置まで押したままにする
音量を調節する	［＋ 音量 －］を押す ・0（最小）～ 50（最大）

お知らせ

・電源「切」の状態で、すでに SD が入っているときに［SD ▶/❚❚］を押すと、電源が入り SD の再生が始まります。（ワンタッチ再生）
・画面の静止画は、静止画の添付された曲を別売の SD-Jukebox で書き込むと表示することができます。
・画面の静止画は、オーディオ画面のときのみ表示されます。
・SD のサーチ中は音が聴こえません。

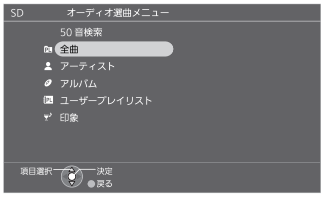
曲を探して聴く

選曲メニューから、聴きたい曲を含むプレイリストを簡単に見つけることができます。目的のプレイリストに切り換えることで、そのプレイリスト内の曲を再生できます。

1 ［オーディオ選曲］を押す

2 ▲/▼ でプレイリストの種類を選び、［決定］を押す

「全曲」「新曲」「マイベスト」を選んだ場合は手順 ❹ へ



3 ▲/▼ でプレイリストを選び、［決定］を押す

4 ▲/▼ で曲を選び、［決定］を押す

タブがあるときは、
◀/▶ でリストを切り換えられます。



選んだ曲から再生が始まります。

■50 音順で探して聴くには

① 上記手順 ❷ で「50 音検索」を選び、［決定］を押す
② ▲/▼/◀/▶ でプレイリストを選び、［決定］を押す
　◀/▶ でタブを選ぶ
　▲/▼ でプレイリストを選ぶ
③ ▲/▼ で曲を選び、［決定］を押す

■一つ前の画面に戻るには

［戻る］を押す

お知らせ

・50 音検索は、プレイリストに基づいた検索機能です。曲タイトルからの検索はできません。

プレイリストの種類

50 音検索	プレイリストを 50 音から検索して選べます。
全曲	すべての曲から選べます。
新曲※	SD-Jukebox や当社製ステレオシステムで新曲転送された曲を選べます。
マイベスト※	マイベスト機能搭載の当社製オーディオ機器でマイベストに分類された曲を選べます。
アーティスト	SD-Jukebox や当社製ステレオシステムなどでアーティストに分類されたプレイリストから選べます。
アルバム	SD-Jukebox や当社製ステレオシステムなどでアルバムに分類されたプレイリストから選べます。
ユーザープレイリスト	SD-Jukebox や当社製ステレオシステムなどでお客様が作成されたプレイリストから選べます。
印象	SD-Jukebox や当社製ステレオシステムなどで印象に分類されたプレイリストから選べます。 ウキウキ系　癒し系 ゆったり系 その他の印象プレイリスト

- 下線部はお買い上げ時の設定です。

※ プレイリストがある場合のみ表示されます。

再生モードを切り換える

再生範囲を変えたり、順不同に再生することができます。

停止中や再生中に、

[再生モード] を押して再生モードを選ぶ

押すたびに：

ノーマル → 1曲 → ランダム
└ プレイリスト連続 ←┘



再生モード

ノーマル	通常の再生をします。
1 曲	1 曲を再生します。
ランダム	選ばれているプレイリスト内の曲を順不同に再生します。
プレイリスト連続	選ばれているプレイリストと同じ種類のプレイリストを連続して再生します。(「アーティスト」「アルバム」「ユーザープレイリスト」のみ)

お知らせ

- ランダム再生中は、一度再生した曲へスキップできません。
- ランダム再生中のサーチは、再生している曲の中だけで行われます。

くり返し聴く（リピート再生）

リピート再生は、下記の再生方法と組み合わせることができます。

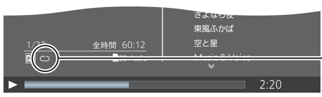
- 通常の再生（➔ 16 ページ）
- 再生モードを変えて再生（➔ 左記）

停止中や再生中に、

[リピート] を押す

押すたびに：

リピート再生 → リピート解除
↑________________________|



リピート再生

オーディオ情報を見る

再生中や一時停止中に、

[オーディオ情報] を押す

曲のタイトルやビットレートなどが表示されます。



● 画面にスクロールバーが表示されているときは、▲/▼ で画面を移動できます。

■ 標準画面に戻るには

[戻る] を押す

iPod を聴く MW-10 のみ

対応している iPod を接続して本機で楽しむことができます。

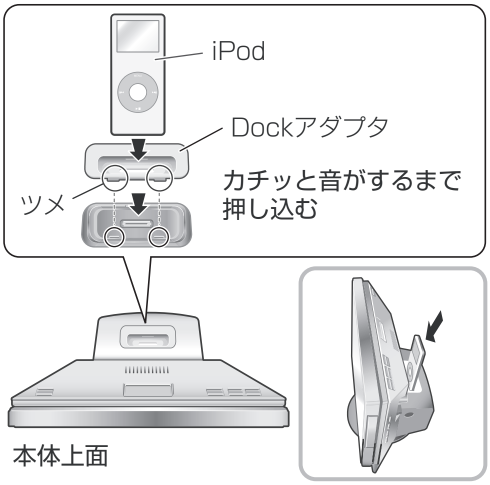
→ 対応している iPod の機種は：20 ページ

iPod を接続する / 充電する

- iPod の電源を切った状態にしておく
- iPod ケースなどを付けている場合は取り外しておく

1 iPod に付属されている Dock アダプタを必ず取り付ける

2 iPod を取り付ける



iPod を接続すると、充電が始まります。本機の電源が「切」時の充電中は、本機の画面右下に「iPod 充電中」と表示されます。(iPod の種類によって、充電が完了しても表示されたままの場合があります。)
本機の電源が入っていてもいなくても充電されます。

お願い

- ほこりや異物がないことを確認して接続してください。
- iPod はゆっくりと抜き差ししてください。また、逆向きに差し込まないでください。逆向きに差し込むと、コネクター部の破損の原因となります。
- 充電完了後、iPod を長時間使用しないときは、本機から外しておいてください。充電後の自然放電により電池が消耗しても追加充電はされません。

お知らせ

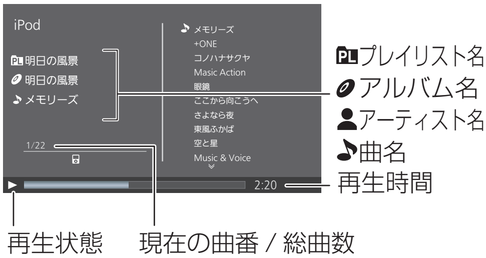
- iPod に Dock アダプタが付属されていない場合は、Apple 社からお買い求めください。
- iPod に付属されている説明書などもお読みください。
- iPod のデータ管理について、当社では一切の保証はしていません。

iPod の音楽を本機で再生する

- 本機の音量を下げておく
- iPod を接続しておく（→ 左記）

[iPod ▶/❚❚] を押す

セレクターが iPod に切り換わり、再生が始まります。
例：オーディオ画面



● 本体で操作する場合、[オーディオセレクター] を数回押して「iPod」を選び、[▶/❚❚] を押します。(オーディオセレクター切換画面で、リモコンの ▲/▼ でも「iPod」を選べます。)

一時停止する	[iPod ▶/❚❚] や [■ ラジオ切] (停止) を押す • 再開するには、[iPod ▶/❚❚] を押す
曲を飛ばす (スキップ)	再生中 / 一時停止中に、[⏮/◀◀] や [▶▶/⏭] を押す
早送り / 早戻しする (サーチ)	再生中 / 一時停止中に、[⏮/◀◀] や [▶▶/⏭] を押したままにする
音量を調節する	[+ 音量 −] を押す • 0 (最小) ～ 50 (最大)
順不同に聴く (シャッフル再生)	[再生モード] を押す 押すたびに： オフ → 曲 → アルバム
くり返し聴く (リピート再生)	[リピート] を押す 押すたびに： オフ → 1曲 → すべて
オーディオ情報を見る	再生中 / 一時停止中に、[オーディオ情報] を押す (曲のタイトルなどが表示されます。)

お知らせ

- 動画を見る（➔ 20 ページ）と、シャッフル再生の設定は自動的に「オフ」になることがあります。
- 電源「切」の状態で、すでに iPod が接続されているときに［iPod ▶/❚❚］を押すと、電源が入り iPod の再生が始まります。（ワンタッチ再生）
- シャッフル再生やリピート再生の設定は、iPod を本機から取り外しても引き継がれます。また、本機に接続する前に iPod で設定していた場合も引き継がれます。
- シャッフル再生の「アルバム」はアルバムが順不同に再生されますが、アルバム内の曲は順番に再生されます。
- 再生モードを切り換えたとき、オーディオ再生画面の曲リストが再生曲と異なって表示される場合があります。その場合は、選曲メニューから曲を選び直してください。

曲を探して聴く

選曲メニューから、聴きたい曲を簡単に見つけることができます。

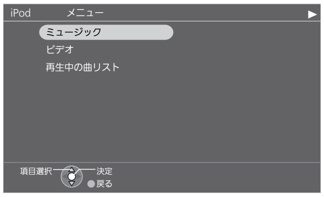
選曲メニューの種類

プレイリスト	すべてのプレイリストの中から探します。
アーティスト	アーティスト名から探します。
アルバム	アルバムタイトルから探します。
曲	iPod に登録しているすべての曲の中から探します。
Podcast	iTunes Store で入手したラジオ番組を、エピソードから探します。
オーディオブック	iTunes Store または audible.com から購入したオーディオブック内のタイトルから探します。

- 本機の音量を下げておく
- iPod を接続しておく（➔ 18 ページ）
- [iPod ▶/❚❚] → [■ ラジオ切]（停止）を押してセレクターを切り換えておく（本体の場合は、［オーディオセレクター］を押して「iPod」を選んでおく）

1 ［オーディオ選曲］を押す

2 ▲/▼ で「ミュージック」を選び、［決定］を押す



「再生中の曲リスト」を選んだ場合は手順 5 へ

3 ▲/▼ で選曲方法を選び、［決定］を押す

「曲」「Podcast」を選んだ場合は手順 5 へ

4 「アーティスト」を選んだ場合は、
①▲/▼ でアーティストを選び、［決定］を押す
②▲/▼ でアルバムを選び、［決定］を押す

「アーティスト」以外を選んだ場合は、
▲/▼ で項目を選び、［決定］を押す

5 ▲/▼ で曲を選び、［決定］を押す

タブがあるときは、
◀/▶ でリストを切り換えられます。



選んだ曲から再生が始まります。

iPod を聴く MW-10 のみ （つづき）

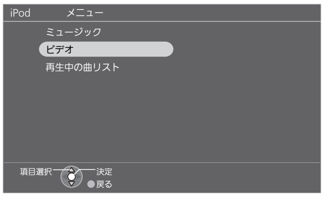
iPod の動画を本機で見る

ビデオ再生に対応している iPod を接続すると、本機の画面で楽しむことができます。

- 本機の音量を下げておく
- iPod を接続しておく（➔ 18 ページ）
- ［iPod ▶/❚❚］ → ［■ ラジオ切］（停止）を押してセレクターを切り換えておく（本体の場合は、［オーディオセレクター］を押して「iPod」を選んでおく）

1 ［オーディオ選曲］を押す

2 ▲/▼ で「ビデオ」を選び、［決定］を押す



3 ▲/▼ で動画の種類を選び、［決定］を押す

4 ▲/▼ で動画を選び、［決定］を押す

一時停止する	［iPod ▶/❚❚］や［■ ラジオ切］（停止）を押す ・再開するには、［iPod ▶/❚❚］を押す
動画を飛ばす（スキップ）	再生中 / 一時停止中に、［⏮/◀◀］や［▶▶/⏭］を押す
早送り / 早戻しする（サーチ）	再生中 / 一時停止中に、［⏮/◀◀］や［▶▶/⏭］を押したままにする
音量を調節する	［+ 音量 −］を押す ・0（最小）～ 50（最大）

お知らせ

- ディスプレイ部の仕様により、iPod の動画は少し横長に表示されます。
- iPod の動画再生中に、ディスプレイ部を開くと数秒後に表示が消えますが、動画は再生されたままになります。
- 本機では、iPod 内にある写真を再生することはできません。

本機で使用できる iPod

（2009 年 8 月現在）

名前	容量
iPod touch 第 2 世代	8 GB, 16 GB, 32 GB
iPod nano 第 4 世代（ビデオ）	8 GB, 16 GB
iPod classic	120 GB
iPod touch 第 1 世代	8 GB, 16 GB, 32 GB
iPod nano 第 3 世代（ビデオ）	4 GB, 8 GB
iPod classic	80 GB, 160 GB
iPod nano 第 2 世代（アルミニウム）	2 GB, 4 GB, 8 GB
iPod 第 5 世代（ビデオ）	60 GB, 80 GB
iPod 第 5 世代（ビデオ）	30 GB
iPod nano 第 1 世代	1 GB, 2 GB, 4 GB
iPod 第 4 世代（カラーディスプレイ）	40 GB, 60 GB
iPod 第 4 世代（カラーディスプレイ）	20 GB, 30 GB
iPod 第 4 世代	40 GB
iPod 第 4 世代	20 GB
iPod mini	4 GB, 6 GB

- 動画の再生は、ビデオ再生に対応しているもののみになります。
- ご使用の iPod またはそのバージョンにより、通常と異なる動作や表示などを行う場合がありますが、基本的な再生の利用には支障ありません。できるだけ最新のバージョンをご使用ください。
- 本機で iPod に録音や記録することはできません。

ラジオを聴く

放送局を登録して聴く

放送局をチャンネルに登録しておくと、簡単な操作で聴くことができます。
FM/AM 各 15 局まで登録することができます。

- FM 簡易型アンテナ /AM ループアンテナを接続しておく（➔ 6 ページ）
- [FM/AM]（MW-7 の場合［FM］［AM］）を押してセレクターを切り換えておく
（本体で操作する場合は、[オーディオセレクター］を押して「FM」「AM」を選んでおく）

お住まいの地域を選択する（エリアバンク）

お住まいの地域を選ぶだけで、その地域で受信できる主な放送局を一度に記憶できます。

1 ［プログラム］を押す
ラジオメニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼ で「エリアバンク」を選び、［決定］を押す



3 ▲/▼ でお住まいの地方を選び、［決定］を押す



4 ▲/▼ でお住まいの地域を選び、［決定］を押す
最初に登録されている放送局を受信します。

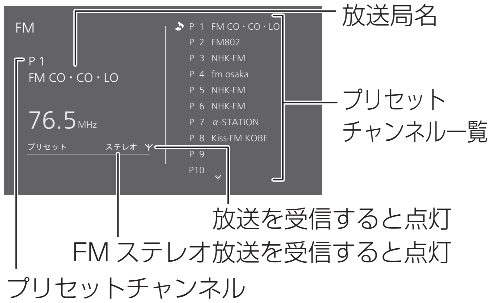
■一つ前の画面に戻るには
［戻る］を押す

登録した放送局を聴く（プリセットチューニング）

1 ［再生モード］を押してチューニングモードを「プリセットチューニング」に切り換える
押すたびに：

プリセットチューニング → マニュアルチューニング
↑_______________________________|

2 [|◀◀/◀◀］や［▶▶/▶▶|］を押してチャンネルを選ぶ
登録のないチャンネルはスキップされます。
例：オーディオ画面



● 数字ボタンでもチャンネルを選ぶことができます。

ラジオの音を止めるには	[■ ラジオ切］（停止）を押す • 受信を再開するには、[FM/AM]（MW-7 の場合［FM］［AM］）を押す

■チャンネル一覧から選ぶには
① [オーディオ選曲］を押す
② ▲/▼ でチャンネルを選び、[決定］を押す
● ▲/▼ の代わりに数字ボタンを押して選ぶこともできます。

■放送局を手動で登録するには（プリセット登録）
① [再生モード］を押して「マニュアルチューニング」に切り換える
② [|◀◀/◀◀］や［▶▶/▶▶|］を押して登録したい周波数に合わせる
③ [プログラム］を押す
④ ▲/▼ で「プリセット登録・消去」を選び、［決定］を押す
⑤ ▲/▼ で登録するチャンネルを選び、［決定］を押す
● プリセット登録を消去するには、上記手順⑤の画面で消去したいチャンネルを選び、［消去］を押します。

お知らせ
• FM のプリセット登録はモノラル受信（➔ 22 ページ）でも登録することができます。

ラジオを聴く（つづき）

周波数を合わせて聴く（マニュアルチューニング）

• ［FM/AM］（MW-7 の場合［FM］［AM］）を押してセレクターを切り換えておく
（本体で操作する場合は、［オーディオセレクター］を押して「FM」「AM」を選んでおく）

1 ［再生モード］を押してチューニングモードを「マニュアルチューニング」に切り換える

押すたびに：

プリセットチューニング → マニュアルチューニング
↑________________________|

2 ［|◀◀/◀◀］や［▶▶/▶▶|］を押して周波数を合わせる

選んだ周波数の放送局を受信します。

ラジオの音を止めるには	［■ ラジオ切］（停止）を押す • 受信を再開するには、［FM/AM］（MW-7 の場合［FM］［AM］）を押す

■自動選局するには
周波数が動き始めるまで、
［|◀◀/◀◀］や［▶▶/▶▶|］を押したままにする

放送を受信すると止まります。

● 自動選局を止めるには、もう一度［|◀◀/◀◀］や［▶▶/▶▶|］を押します。

自動選局中、周囲に妨害電波があると、放送を受信せずに周波数が止まることがあります。

■FM ステレオ放送で雑音が多いとき
FM 受信中に、［再生モード］を約 2 秒以上押す

押すたびに：

オート（ステレオ） → モノラル
↑_____________________|

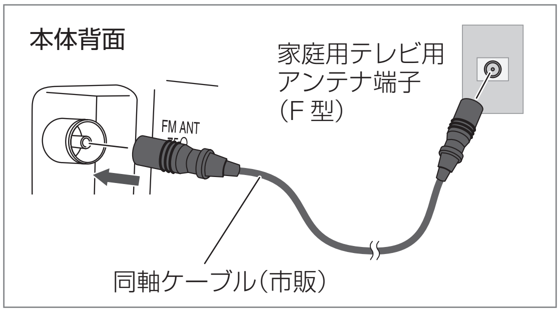
［|◀◀/◀◀］や［▶▶/▶▶|］を押して、受信している周波数を変えると自動的に「オート（ステレオ）」に戻ります。（通常は「オート（ステレオ）」にしてください。）

■AM 放送で雑音が多いとき
①AM 受信中に、［プログラム］を押す
②▲/▼で「ビートプルーフ」を選ぶ
③◀/▶で「BP1」「BP2」「BP3」「BP4」から雑音の少ないものを選ぶ
④［戻る］を押して標準画面に戻る

● AM ループアンテナ、AC アダプターと本体は、それぞれできるだけ離してください。

■ラジオがうまく受信できないとき
山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところやノイズが入るときには、屋外アンテナなどの設置をおすすめします。

● FM（テレビ用アンテナ端子の利用）
付属の FM 簡易型アンテナを取り外します。
同軸ケーブルで、本機の FM アンテナ端子とテレビ用アンテナ端子（F 型）を接続します。



上記の接続をしてもうまく受信できない場合、FM 専用アンテナ（市販）やブースター（増幅器・市販）の使用が必要になることがあります。くわしくは販売店にご相談ください。

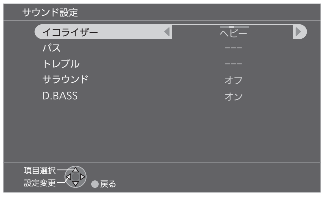
音場・音質などの設定

音場・音質効果を変える

イコライザーで好みの音質を選んだり、バス（低域）とトレブル（高域）のレベル調整などができます。

好みの音質を楽しむ

1 標準画面の表示中に、
［サウンド］を押す



2 ▲/▼ で「イコライザー」を選び、
◀/▶ で好みの音質を選ぶ

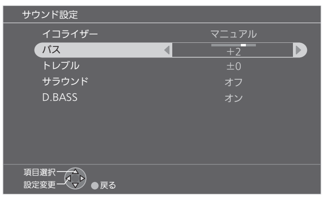


マニュアル	「バス」（低域）と「トレブル」（高域）のレベルを手動で調整するときに選びます。（➜下記）
フラット	音質効果を使わないときに選びます。
<u>ヘビー</u>	ロックなど、パンチを効かせるときに選びます。
クリア	ジャズなど、高音部を鮮明にするときに選びます。
ソフト	BGM として聴くときに選びます。
ボーカル	ボーカルにつやを出したいときに選びます。

• 下線部はお買い上げ時の設定です。

3 ［戻る］を押して標準画面に戻る

■上記手順 **2** で「マニュアル」を選んだ場合
▲/▼ で「バス」または「トレブル」を選び、
◀/▶ でレベルを選ぶ

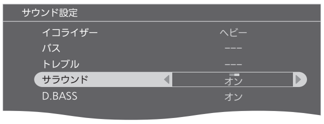


「－ 4」から「＋ 4」まで調整できます。

サラウンド効果を楽しむ

1 標準画面表示中に、
［サウンド］を押す

2 ▲/▼ で「サラウンド」を選び、
◀/▶ で「オン」を選ぶ



解除するには「オフ」を選ぶ

3 ［戻る］を押して標準画面に戻る

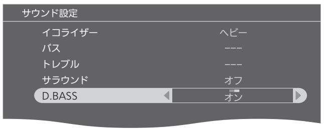
お知らせ
• サラウンドのお買い上げ時の設定は「オフ」です。

豊かな低音で聴く

低い周波数の重低音を大きくします。

1 標準画面の表示中に、
［サウンド］を押す

2 ▲/▼ で「D.BASS」を選び、
◀/▶ で「オン」を選ぶ



解除するには「オフ」を選ぶ

3 ［戻る］を押して標準画面に戻る

お知らせ
• D.BASS のお買い上げ時の設定は「オン」です。
• 再生する音源によっては効果の少ないものもあります。

一時的に消音する

［消音］を押す



消音中に表示

■解除するには
• もう一度［消音］を押す
• 音量を調節する
• 電源を切 / 入する

写真を選んで再生する

本機で再生できる写真

ファイル形式	JPEG（JPEG でも再生できないものがあります。）
画素数	最大 5120 × 3840 最小 64 × 64
最大ファイルサイズ	10 MB
対応フォルダ数	1000 フォルダ CD の場合、100 フォルダになります。
対応ファイル数	40000 ファイル • 1 フォルダあたり 1000 ファイル CD の場合、1000 ファイル（1 フォルダあたり 1000 ファイル）になります。

• 第 6 階層より深いフォルダ内のファイルは再生できません。
• 「SD_VIDEO」「SD_AUDIO」フォルダ内のファイルは再生できません。

ここでは、メディアを選んで「全ての写真」から選ぶ方法を説明しています。

SD 内蔵メモリー CD

• 写真の入った SD カードや CD を入れておく（➔ 10 ページ）

写真の入った SD カードや CD を入れると、25 ページのような画面が表示されます。（ここでは、あらかじめ SD カードや CD が入っている状態で説明しています。）
• 内蔵メモリーの写真を再生するには、内蔵メモリーに写真をコピーしておいてください。(➔ 27 ページ)

1 ［写真メディア］を押して写真メディアを切り換える

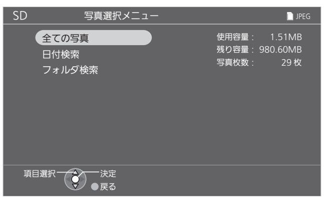
押すたびに：

内蔵メモリー → SD → CD
（CD → 内蔵メモリーに戻る）

● ［写真メディア］を押して ▲/▼ で選ぶこともできます。

2 ［写真選択］を押す

3 ▲/▼ で「全ての写真」を選び、［決定］を押す



4 ▲/▼/◀/▶ で写真を選び、［決定］を押す



シングル表示とスライドショーの再生について

上記手順 **4** で写真を選び、［決定］を押すと、選んだ写真がシングル表示、または選んだ写真からスライドショーが始まります。

シングル表示とスライドショーを切り換える	［決定］を押す
スライドショー再生をする	［スライドショー］を押す
写真を切り換える	再生中に、◀/▶ を押す • ランダム（➔ 30 ページ）再生中は前の写真に戻ることはできません。
サムネイル[※1]表示にする	再生中に、［戻る］を押す
スクロール[※2]させる（SD/ 内蔵メモリーのみ）	再生中やサムネイル表示中に、◀/▶ を押したままにする • 指を離すと、中央に表示されている写真が選ばれます。 • ランダム（➔ 30 ページ）再生中はできません。
写真の情報を表示する	▲ を押す • 操作ガイドも画面に表示されます。

※1 サムネイルとは、複数の画像を一覧表示するために縮小した画像のことです。
※2 スクロールとは、画面に一度に表示できない場合などに、順番に流れるようにする機能です。

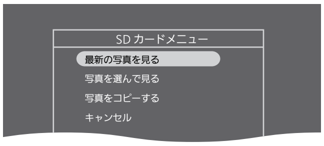
お知らせ

• 内蔵メモリーと SD でのスライドショーは、くり返し再生されます。
• サムネイル表示のできない画像がある場合、「📷」を表示します。また写真やメディアによってはスクロール中のサムネイル画像が「📷」で表示される場合があります。
• 写真の表示には時間がかかる場合があります。特に CD の場合には、数十秒かかることがあります。
• スライドショー中にディスプレイ部を開けるとスライドショーは一時停止されます。

➔ スライドショーの順序や効果を変える：30 ページ

写真の入ったSDカード/CDを本機に入れると

下のような画面が自動で表示されます。
例：SDカードを入れたとき



▲/▼を押して［決定］を押すと、それぞれの写真メニューの操作に入れます。

- ●「キャンセル」を選ぶと、標準画面に戻ります。
- ●「最新の写真を見る」を選ぶと、「日付検索」（➜ 右記）の最新の写真を再生します。

➜ 写真を選んで見る：右記
➜ 写真をコピーする：27ページ

写真の詳細情報を表示する

SD 内蔵メモリー CD

［情報（写真）］を押す

再生している写真のファイル名、画素数や撮影年月日などが表示されます。

- ●画面にスクロールバーが表示されているときは、▲/▼で画面を移動できます。

■詳細情報表示を消すには
［戻る］を押す

お知らせ

- スライドショー再生中に詳細情報を表示した場合、元の画面に戻さないと次の写真に切り換わりません。

写真をズームする

SD 内蔵メモリー CD

［ズーム（写真）］を押す

押すたびに、写真が下記のように切り換わります。

1倍（元の画面） → 1.5倍 → 2倍 →（1倍に戻る）

- ●ズームした写真は、▲/▼/◀/▶で見たい部分を移動させて表示できます。

お知らせ

- スライドショー再生中に写真ズームにした場合、元の画面に戻さないと次の写真に切り換わりません。

写真を回転する

SD 内蔵メモリー CD

［回転（写真）］を押す

押すたびに、左回りに90度ずつ回転します。

お知らせ

- SDカード/CDの場合、電源を切るまたはメディアを取り出すと回転情報は解除されます。

分類された写真を選んで見る

写真は以下の分類別に探すことができます。目的の分類を選ぶことで、その分類内の写真を再生できます。

<u>全ての写真</u>	SD 内蔵メモリー CD SD/内蔵メモリー/CD内それぞれのすべての写真から選びます。 （➜ 24ページ）
最近取り込んだ写真	内蔵メモリー 27ページで内蔵メモリーに取り込んだ最近の写真100枚から選びます。 • パソコンから直接コピーした写真は、「最近取り込んだ写真」には分類されません。
日付検索	SD 内蔵メモリー 日付別に写真を選びます。
フォルダ検索	SD 内蔵メモリー CD フォルダから選びます。
SDカードのお気に入り1～10	SD （写真がある場合のみ表示） 当社製デジタルカメラLUMIXやポータブルテレビなどでお気に入りに登録した写真から選びます。
お気に入り1～3	内蔵メモリー 本機でお気に入りに登録した写真から選びます。（➜ 29ページ）

- 下線部はお買い上げ時の設定です。

お知らせ

- 「お気に入り」はDPOF情報に基づいて分類されますので、当社製以外のお気に入りなども「SDカードのお気に入り」に分類されることがあります。
- 当社製デジタルカメラやポータブルテレビでのお気に入りに登録する方法は、それぞれの取扱説明書をお読みください。

写真を選んで再生する（つづき）

- SD/CD の場合、写真の入った SD カード /CD を入れておく（➔ 10 ページ）
- 内蔵メモリーの場合、内蔵メモリーに写真をコピーしておく（➔ 27 ページ）

最近取り込んだ写真から選んで再生する

1. 写真メディアを「内蔵メモリー」に切り換える（➔ 24 ページ）
2. ［写真選択］を押す
3. ▲/▼ で「最近取り込んだ写真」を選び、［決定］を押す
4. ▲/▼/◀/▶ で写真を選び、［決定］を押す

日付で検索して再生する

1. 写真メディアを「SD」または「内蔵メモリー」に切り換える（➔ 24 ページ）
2. ［写真選択］を押す
3. ▲/▼ で「日付検索」を選び、［決定］を押す
4. ▲/▼/◀/▶ で日付を選び、［決定］を押す
   ◀/▶ で日を選ぶ
   ▲/▼ で月を選ぶ

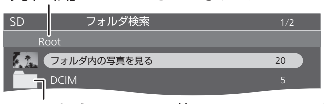


5. ▲/▼/◀/▶ で写真を選び、［決定］を押す

（お知らせ）
- 日付検索ができるのは 2000 年 1 月から 2099 年 12 月までです。
- 写真ファイルの日付データには、撮影日と更新日があり、日付検索では更新日を利用しています。パソコン編集などで更新日が変更された場合、日付検索で表示される日付と、再生画面等で表示される撮影日が異なります。

フォルダで検索して再生する

1. 写真メディアを切り換える（➔ 24 ページ）
2. ［写真選択］を押す
3. ▲/▼ で「フォルダ検索」を選び、［決定］を押す
4. ▲/▼ でフォルダを選び、［決定］を押す
   例：SD カード
   現在開いているフォルダ



（フォルダアイコン）：さらに下の階層にフォルダが存在

● 必要に応じて手順 4 の操作をくり返してください。

5. ▲/▼/◀/▶ で写真を選び、［決定］を押す

SD カードのお気に入りから選んで再生する

当社製デジタルカメラやポータブルテレビのお気に入りは下記のように分類されます。

SD カードのお気に入り	LUMIX やポータブルテレビのお気に入り
4	LUMIX のお気に入り
5	ポータブルテレビのお気に入り 1
6	ポータブルテレビのお気に入り 2
7	ポータブルテレビのお気に入り 3

- LUMIX などで、お気に入りに登録した写真の入った SD カードを入れておく（➔ 10 ページ）

1. 写真メディアを「SD」に切り換える（➔ 24 ページ）
2. ［写真選択］を押す
3. ▲/▼ でお気に入りの分類を選び、［決定］を押す
4. ▲/▼/◀/▶ で写真を選び、［決定］を押す

■一つ前の画面に戻るには
［戻る］を押す

写真をコピーする

本機は、4 GB の内蔵メモリーを搭載していますので、SD や CD から写真を取り込むことができます。取り込み時は、写真のファイル名やフォルダ名が以下のように付けられます。
例：2009 年 8 月 12 日にコピーした場合
フォルダ名：090812_1
ファイル名：08120001.jpg

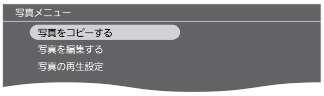
SD や CD から取り込む



- SD/CD の場合、写真の入った SD カード /CD を入れておく（➔ 10 ページ）
- コピーする写真を含んでいる分類を選んでおく（➔ 25、26 ページ）
- オーディオを停止しておく

1 標準画面の表示中に、
［メニュー（写真)］を押す

2 **▲/▼ で「写真をコピーする」を選び、［決定］を押す**



3 **▲/▼ で「SD から取り込む」または「CD から取り込む」を選び、［決定］を押す**



4 **▲/▼/◀/▶ で写真を選び、［決定］を押す**



選んだ写真に「☑」が表示されます。
もう一度［決定］を押すと解除されます。
- ［メニュー（写真)］を押して、写真の「全選択」「全解除」を選んだり、シングル表示に切り換えて写真を選ぶこともできます。

5 **［メニュー（写真)］を押して、▲/▼ で「コピー実行」を選び、［決定］を押す**

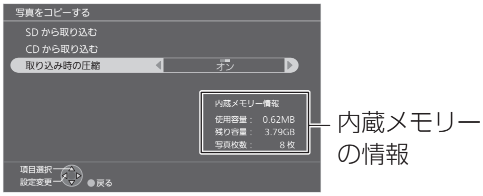


6 **◀/▶ で「はい」を選び、［決定］を押す**

■コピーを途中で止めるには
［戻る］を押す
すでにコピーされた写真は内蔵メモリーに残ります。

■一つ前の画面に戻るには
［戻る］を押す

■取り込み時にデータを圧縮するには
「オン」に設定すると、「オフ」時より多くの写真の取り込みができます。（圧縮して取り込んだ写真を、圧縮していない状態に戻すことはできません。）
①［メニュー（写真)］を押す
②▲/▼ で「写真をコピーする」を選び、［決定］を押す
③▲/▼ で「取り込み時の圧縮」を選び、◀/▶ で「オン」を選ぶ



➔ 内蔵メモリーの写真を SD カードにバックアップする：35 ページ
➔ パソコンから写真をコピーする：33 ページ

お知らせ
- CD から内蔵メモリーへのコピー中に、ディスプレイ部を開けるとコピーは中断されます。（すでにコピーされた写真は内蔵メモリーに残ります。）
- SD などの写真にお気に入りやプロテクト設定があっても、情報はコピーされません。
- 写真のコピー後、写真メディアを「内蔵メモリー」に切り換えると、コピーして新しく作られたフォルダが自動的に選択されます。
- 「取り込み時の圧縮」のお買い上げ時の設定は「オフ」です。
- ファイルシステム上の制限により、実際に使える内蔵メモリーの容量は、表示されている容量より少なくなります。

写真を消去する / 保護（プロテクト）する

写真を消去する

内蔵メモリー

- 写真メディアの「内蔵メモリー」を選んでおく（➜ 24 ページ）
- 消去する写真を含んでいる分類を選んでおく（➜ 25、26 ページ）
- オーディオを停止しておく

1 標準画面の表示中に、
［メニュー（写真）］を押す

2 ▲/▼ で「写真を編集する」を選び、［決定］を押す

3 ▲/▼ で「ファイルを消去する」を選び、［決定］を押す

4 ▲/▼/◀/▶ で消去する写真を選び、［決定］を押す

選んだ写真に「☑」が表示されます。
もう一度［決定］を押すと解除されます。

● ［メニュー（写真）］を押して、写真の「全選択」「全解除」を選んだり、シングル表示に切り換えて写真を選ぶこともできます。

5 ［メニュー（写真）］を押して、▲/▼ で「消去実行」を選び、［決定］を押す



6 ◀/▶ で「はい」を選び、［決定］を押す

■消去を途中で止めるには
［戻る］を押す
すでに消去された写真は元に戻りません。

お知らせ

- フォルダ内の写真を全て消去すると、フォルダは自動的に消去されます。
- 内蔵メモリーの写真データを完全に消去する場合は、「内蔵メモリーフォーマット」を行ってください。（➜ 35 ページ）

写真を保護（プロテクト）する

内蔵メモリー

誤って消去しないように、写真を保護（プロテクト）します。
保護していても、内蔵メモリーをフォーマット（➜ 35 ページ）した場合は消去されます。

- 写真メディアの「内蔵メモリー」を選んでおく（➜ 24 ページ）
- プロテクトする写真を含んでいる分類を選んでおく（➜ 25、26 ページ）
- オーディオを停止しておく

1 標準画面の表示中に、
［メニュー（写真）］を押す

2 ▲/▼ で「写真を編集する」を選び、［決定］を押す

3 ▲/▼ で「プロテクトを設定する」を選び、［決定］を押す

4 ▲/▼/◀/▶ で保護する写真を選び、［決定］を押す

保護された写真に「🔒」が表示されます。
もう一度［決定］を押すと保護が解除されます。

● ［メニュー（写真）］を押して、写真の「全選択」「全解除」を選んだり、シングル表示に切り換えて写真を選ぶこともできます。

5 ［メニュー（写真）］を押して、▲/▼ で「プロテクト設定終了」を選び、［決定］を押す



■一つ前の画面に戻るには
［戻る］を押す

お気に入りの写真を集める

写真をお気に入りに登録する

内蔵メモリー

写真をお気に入りに登録しておくと、登録した写真だけを再生したり、写真を探しやすくすることができます。

- 「お気に入り 1」「お気に入り 2」「お気に入り 3」の 3 つに分けて登録できます。
- ここでは、「お気に入り 1」に登録する方法を例に説明しています。「お気に入り 2」「お気に入り 3」に登録する場合は、下記手順 ❹ で「お気に入り 2」または「お気に入り 3」を選んでください。

- 写真メディアの「内蔵メモリー」を選んでおく（➜ 24 ページ）
- 登録する写真を含んでいる分類を選んでおく（➜ 25、26 ページ）
- オーディオを停止しておく

❶ 標準画面の表示中に、
［メニュー（写真）］を押す

❷ ▲/▼ で「写真を編集する」を選び、［決定］を押す

❸ ▲/▼ で「お気に入りを編集する」を選び、［決定］を押す

❹ ▲/▼ で「お気に入り 1」を選び、［決定］を押す

❺ ▲/▼/◀/▶ で登録する写真を選び、［決定］を押す

登録された写真に「☆1」が表示されます。
もう一度［決定］を押すと登録が解除されます。
すでに登録済みの写真には、「☆1」「☆2」「☆3」が表示されます。

● ［メニュー（写真）］を押して、写真の「全選択」「全解除」を選んだり、シングル表示に切り換えて写真を選ぶこともできます。

❻ ［メニュー（写真）］を押して、▲/▼ で「お気に入り編集終了」を選び、［決定］を押す



お知らせ

- お気に入りにはそれぞれ 999 枚まで登録できます。
- 写真によっては登録できない場合があります。

登録した写真を見る

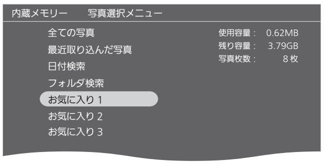
内蔵メモリー

ここでは、「お気に入り 1」の写真を見る方法を説明しています。

- 写真メディアの「内蔵メモリー」を選んでおく（➜ 24 ページ）
- 内蔵メモリーの写真をお気に入りに登録しておく（➜ 左記）

❶ ［写真選択］を押す

❷ ▲/▼ で「お気に入り 1」を選び、［決定］を押す



❸ ▲/▼/◀/▶ で写真を選び、［決定］を押す

登録をリセット（解除）する

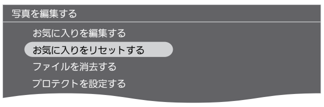
お気に入りに登録した写真をまとめて解除します。

- 写真メディアの「内蔵メモリー」を選んでおく（➜ 24 ページ）
- オーディオを停止しておく

❶ 標準画面の表示中に、
［メニュー（写真）］を押す

❷ ▲/▼ で「写真を編集する」を選び、［決定］を押す

❸ ▲/▼ で「お気に入りをリセットする」を選び、［決定］を押す



❹ ▲/▼ でリセットするお気に入りを選び、［決定］を押す

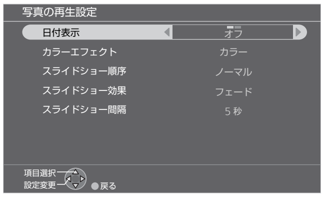
❺ ◀/▶ で「はい」を選び、［決定］を押す

■一つ前の画面に戻るには
［戻る］を押す

写真の再生設定

基本の操作

1. ［メニュー（写真)］を押す
2. ▲/▼ で「写真の再生設定」を選び、［決定］を押す
3. ▲/▼ で設定項目を選び、◀/▶ で設定を選ぶ



4. ［戻る］を数回押して標準画面に戻る

■一つ前の画面に戻るには
［戻る］を押す

• 下線部はお買い上げ時の設定です。

日付表示

オン：　写真の撮影日を表示します。
オフ：　写真の撮影日は表示されません。

カラーエフェクト

カラー　　白黒　　セピア

• 設定内容に関わらず、写真をサムネイル表示したときは元のデータの色調で表示されます。

スライドショー順序

ノーマル：　写真のファイル名順に再生します。
ランダム：　選んでいる分類内の写真を順不同に再生します。

• ランダム設定は、電源を切ったりメディアを切り換えても保持されます。

スライドショー効果

フェード：　次の写真に徐々に切り換えながら再生します。
モーション：　写真を拡大し、上下、左右、対角方向に動かしながら再生します。
スライドイン：　画面右側から左側へ流れるように写真を切り換えながら再生します。

•「モーション」設定時、「スライドショー間隔」の設定は無効になります。

スライドショー間隔

5 秒	10 秒
30 秒	5 分
10 分	30 分
1 時間	3 時間
12 時間	24 時間

毎正時更新：　時計の毎時 00 分に写真を切り換えます。
日替わり更新：カレンダーの日付変更時に写真を切り換えます。
音楽シンクロ：CD/SD/iPod の曲が切り換わる時に写真を切り換えます。

• 写真の読み込み時間が、設定しているスライドショー間隔より長い場合があります。
• 音楽シンクロ設定時は、［⏮/◀◀］［▶▶/⏭］を押して曲をスキップした場合も切り換わります。曲が切り換わらないとき（停止中や一時停止中）は写真も切り換わりません。
• 少ない枚数の写真を短い間隔で継続してスライドショー再生すると、写真データが正常に表示できなくなることがあります。

タイマーを設定する

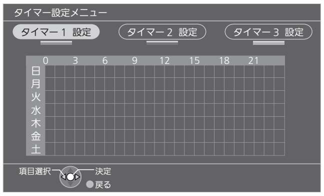
設定した時刻になると、電源が入って写真やオーディオを再生し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。「タイマー 1」「タイマー 2」「タイマー 3」の 3 種類の設定ができます。
ここでは、「タイマー 1」を例に説明しています。

- 時計を合わせておく（➔ 11 ページ）
- 再生する音源（CD/SD/ ラジオ /iPod）を準備しておく
- ラジオを聴く場合は、放送局を受信しておく

1 [◴ タイマー] を押す

タイマー設定メニュー画面が表示されます。

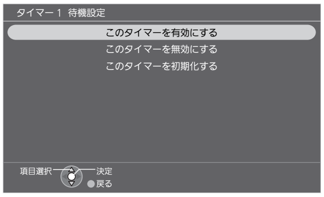
2 ◀/▶ で「タイマー 1 設定」を選び、[決定] を押す



3 ①▲/▼ で「待機設定」を選び、[決定] を押す



②▲/▼ で「このタイマーを有効にする」を選び、[決定] を押す



4 ①▲/▼ で「曜日」を選び、[決定] を押す
②▲/▼ で曜日を選び、◀/▶ でチェックを付け、[決定] を押す



5 ①▲/▼ で「時刻」を選び、[決定] を押す
②▲/▼/◀/▶ で開始 / 終了それぞれの時刻を選び、[決定] を押す



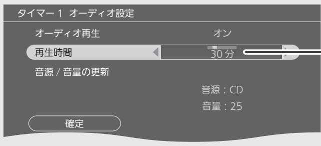
● 数字ボタンでも設定できます。
例）「8 時」: [0] → [8]

開始時刻と終了時刻は同じ時刻には設定できません。

6 ①▲/▼ で「オーディオ再生」を選び、[決定] を押す
②▲/▼ で「オーディオ再生」を選び、◀/▶ で「オン」または「オフ」を選ぶ



「オーディオ再生」で「オン」を選んだ場合のみ、
③▲/▼ で「再生時間」を選び、◀/▶ で再生時間を選ぶ



10 分 /30 分 / 1 時間 /2 時間 / 3 時間 / 制限なし

再生時間の設定は、時刻設定の開始時刻から終了時刻の設定時間に制限されます。

④▲/▼ で「音源 / 音量の更新」を選び、[決定] を押す
⑤セレクターを切り換える（➔ 14、16、18、21 ページ）
⑥[+ 音量 -] を押して音量を調節する
⑦◀/▶ で「はい」を選び、[決定] を押す

➔ 次ページへつづく

タイマーを設定する（つづき）

❼ ▲/▼ で「確定」を選び、[決定] を押す

❽ ▲/▼ で「確定」を選び、[決定] を押す



❾ [戻る] を押して標準画面に戻る

タイマーを設定すると

- 電源「切」時はタイマー開始時刻になると、自動的に電源が「入」になり、タイマー再生が始まります。タイマーの終了時刻になると、自動的に電源「切」になります。電源「入」時の場合も、終了時刻になると､自動的に電源が「切」になります。
- 「オーディオ再生」を「オン」に設定している場合は、タイマー開始時刻の 1 分前になると画面右下に「◷」が点灯します。（電源「入」時のみ）
  タイマーの開始時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）してオーディオを再生します。オーディオ再生中は、「◷」が点滅します。

■一つ前の画面に戻るには

[戻る] を押す

■タイマー設定画面に戻るには

[◷ タイマー] を押す

■他のタイマーと動作時刻が重なっているときは

左記手順 ❽ で、「確定」を選び、決定すると、「設定した時刻が他のタイマーと重なっています。このタイマーを優先して登録しますか？」が表示されます。

「はい」を選び、決定すると、時刻が重複した他のタイマーを無効にします。

「いいえ」を選び、決定すると、タイマー設定の内容を保持したまま元の画面に戻ります。

■設定したタイマーを無効にするには

①31 ページ手順 ❸ - ②で「このタイマーを無効にする」を選び、[決定] を押す

②▲/▼ で「確定」を選び、[決定] を押す

■タイマーの設定を消去するには

①31 ページ手順 ❸ - ②で「このタイマーを初期化する」を選び、[決定] を押す

②▲/▼ で「確定」を選び、[決定] を押す

お知らせ

- 設定メニュー画面などを表示しているときは、タイマーのオーディオ再生は始まりません。
- 「オーディオ再生」で選んでいるオーディオセレクターとタイマー開始時に選ばれているオーディオセレクターが同じで、下記の場合はその状態が継続されます。
  - CD や SD の再生中、一時停止中やサーチ中
  - iPod の再生中やサーチ中
  - 受信中のラジオの、周波数やオート（ステレオ）/モノラルの設定が同じとき
- タイマーは無効にしない限り、設定した時刻に動作します。
- タイマー設定メニュー画面では、10 分未満のタイマーは表示されない場合があります。（「オーディオ再生」が「オン」の場合は「♪」のみ表示されます。）
- オーディオ再生は再生モードなどの設定状態も反映されます。

パソコンと接続してデータのやりとりをする

本機とパソコンを接続して、写真データをコピーしたり、SD-Jukebox（別売）から本機に入れた SD カードに音楽データを転送することができます。

必要なシステム構成
■パソコンの対応 OS
Windows Vista® Windows® XP
Mac OS X
■ポート USB ポート

- SD-Jukebox は Macintosh には対応していません。
- 本機に接続した iPod とパソコン間のデータのやりとりはできません。

パソコンと写真データをやりとりする

①パソコン側で写真データをやりとりするフォルダを開いておく

②下記 USB 接続手順 ❶ から ❸ を行い、手順 ❹ でやりとりしたいメモリーを選ぶ

③パソコン側の「マイコンピュータ」（Windows Vista® は「コンピュータ」）にある「リムーバブルディスク」を開く

本機の写真フォルダが見えます。

Macintosh の場合は、デスクトップ上にドライブが表示されます。

④本機側の写真フォルダを開いて、フォルダ間でデータをやりとりする

●フォルダやファイルをドラッグアンドドロップしてやりとりをします。

SD-Jukebox から本機に音楽データを転送する

①本機に SD カードを入れ、下記 USB 接続手順 ❶ から ❸ を行い、手順 ❹ で「SD カード」を選ぶ

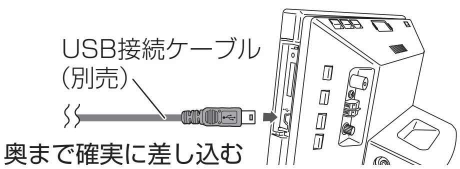
②パソコンで SD-Jukebox を起動する

③SD-Jukebox の画面に従って音楽データを転送する

■USB を接続するには

- 本機の電源を切っておく
- パソコンを起動させておく

❶ USB 接続ケーブル（別売 ➔ 36 ページ）の向きを確かめ、本機の USB 端子に差し込む



❷ USB 接続ケーブルをパソコンに差し込む

❸ 本機の電源を入れる

❹ ▲/▼ で接続先のメモリーを選び、［決定］を押す



本機が USB リーダーライターとして機能し、パソコンの外部デバイスとして認識されます。

●接続先のメモリーを切り換えたいときは、USB 接続ケーブルを解除（➔ 下記）し、手順 ❶ から ❹ を行ってください。

■USB 接続ケーブルを取り外すには

パソコンでタスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」を行ってください。

●アイコンが表示されていない場合は、「アクセス中」が表示されていないことを確認してから取り外してください。

お知らせ

- 「アクセス中 カードやケーブルを抜かないでください。」などの表示中に USB 接続ケーブルや SD カードを抜き差しすると、SD カード内のデータが消えたり、壊れることがあります。
- パソコンと接続中は本機を操作することはできません。
- USB 接続ケーブルを取り外すと、本機の電源は自動的に「切」になります。
- 1 台のパソコンに複数の USB 接続をしたり、ハブを使用した場合、不具合が発生することがあります。
- すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- Mac OS X v10.2 以前の場合は、SDHC メモリーカードからパソコンに写真を取り込むときに、SDHC メモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしてください。
- 本機と接続中に、パソコンのフォーマット機能を用いて内蔵メモリーや SD カードをフォーマットしないでください。
- SD-Jukebox で SD カードに音楽データを書き込むときは、「再生デバイスの選択」の「機種（品番）」を「SC-PM770SD/PM730SD/PM710SD」に設定してください。（音楽データの転送方法についてくわしくは、SD-Jukebox の取扱説明書（通常モード編）をお読みください。）

便利な機能

画面の明るさを変える

［ディマー］を押す

押すたびに：

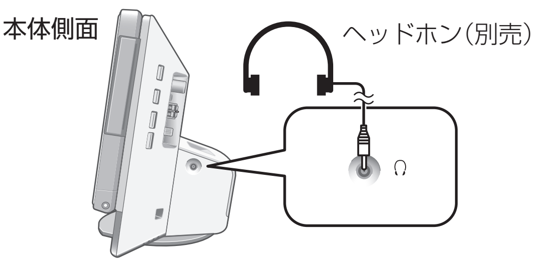
オン（暗い）→オフ（明るい）

- 下線部はお買い上げ時の設定です。

お知らせ

- 電源を切っても、設定は保持されます。

ヘッドホンを使う



プラグタイプ：3.5 mm ステレオミニプラグ

お願い

- **ヘッドホンを接続するときは、音量を下げてください。また、耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。**

本機の設定

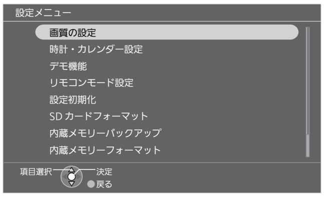
- オーディオを停止しておく

基本の操作

1 ［設定］を押す

設定メニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼ で設定項目を選び、［決定］を押す



3 ▲/▼ や ◀/▶ で設定を選ぶ

■一つ前の画面に戻るには

［戻る］を押す

- 下線部はお買い上げ時の設定です。

画質の設定

■「画質モード」の設定

スタンダード：	標準の画質モードになります。
ソフト：	目にやさしい画質モードになります。
ダイナミック：	明暗がはっきりしたメリハリのある画質モードになります。

■「明るさ調整」の設定（ディマー「オフ」時のみ）

明るさを「1」から「10」までの範囲で調整します。お買い上げ時の設定は「10」です。

時計・カレンダー設定

時計を合わせたり、画面のデザインを選べます。

→「デザイン選択」：13 ページ
→「時刻合わせ」：11 ページ

デモ機能

無効： デモ機能は働きません。

有効： デモ機能が開始されます。

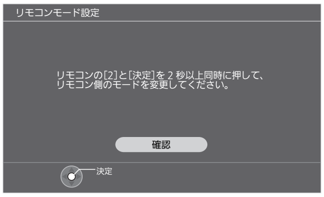
• デモ機能を有効にすると、オーディオ再生や写真再生が2分以上行われていない場合に、デモ機能が働きます。

リモコンモード設定

他の機器のリモコンで本機が誤動作するときは、本体とリモコンのリモコンモードを変更してください。
例：リモコンモードを 2 に設定する

①「リモコンモード設定」→「リモコン 2」を選び、決定

②下の画面が表示されるので、リモコンを本体に向けずに、［決定］を押したまま、数字ボタンの［2］を 2 秒以上押したままにする



③［決定］を押す

■ リモコンモードを 1 に設定するには

①「リモコンモード設定」→「リモコン 1」を選び、決定

② リモコンを本体に向けずに、［決定］を押したまま、数字ボタンの［1］を 2 秒以上押したままにする

③［決定］を押す

設定初期化

日付、時刻と内蔵メモリーの写真データ以外をお買い上げ時の設定に戻します。

①「設定初期化」→「はい」を選び、決定

②「はい」を選び、決定

SD カードフォーマット

SD カードを初期化（フォーマット）します。

SD カードにあるデータはすべて消去されます。

①「SD カードフォーマット」→「はい」を選び、決定

②「はい」を選び、決定

内蔵メモリーバックアップ

「はい」を選ぶと、内蔵メモリーのすべての写真データを SD カードにバックアップします。

• バックアップ中に［戻る］を押して止めた場合、すでにバックアップされた写真は SD カードに残ります。
• お気に入りの設定、写真の回転情報やプロテクト情報はバックアップされません。
• バックアップにかかる時間は、保存枚数やデータ容量に応じて長くなります。（およそ 1000 枚当たり 10 分程度）

内蔵メモリーフォーマット

内蔵メモリーを初期化（フォーマット）します。

内蔵メモリーに入っている写真データはすべて消去されます。

①「内蔵メモリーフォーマット」→「はい」を選び、決定

②「はい」を選び、決定

• 内蔵メモリーをフォーマットしたり、すべての写真を消去（➜ 28 ページ）しても、システムで使用する部分があるため、内蔵メモリーの使用容量は 0 になりません。

■「物理フォーマット」をしてデータを完全に消去するには

①「内蔵メモリーフォーマット」→「はい」を選び、決定

②「プロテクト設定された写真も消去されます。」の画面が表示されてから、［消去］を約 3 秒以上押したままにする

③「はい」を選び、決定

• 物理フォーマットは約 22 分かかります。

システムソフトの情報

本機のシステムソフト情報（バージョン）を確認できます。

• 最新バージョンについては下記のホームページでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

システムソフトの更新

今後、性能改善のためのシステムソフトの書き換え（更新）が必要になったときのための機能です。
システムソフトの更新に関する情報を受ける場合に必要ですので、必ずご愛用者登録をお願いします。
インターネットでの登録が可能です。くわしくは、裏表紙をご覧ください。

別売品のご紹介

本機で再生する音楽データや写真データなどを作成するための、当社製関連商品をご紹介します。

- 別売品の品番は、2009 年 8 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

■本機で再生できる SD カードの音楽データを作成するには（SD-Audio フォーマット）

当社製ミニコンポで、CD やラジオなどを SD に録音する	SC-HC4 SC-HC7/SC-HC5 SC-PM870SD/ SC-PM670SD など
当社製 BD レコーダー（ブルーレイディーガ）で、CD を SD カードに録音する	DMR-BW950/ DMR-BW850/ DMR-BW750 DMR-BW930/ DMR-BW830/ DMR-BW730 など
パソコンで、CD などの音楽を SD カードに書き込むソフトを使用する	SD-Jukebox（ダウンロード版） 下記「パナセンス」でダウンロード購入が可能です。 http://club.panasonic.jp/mall/sense/open/index.html

■本機で再生できる写真データを作成するためには

当社製デジタルカメラ（LUMIX）で写真撮影をする	当社製 LUMIX 全機種
携帯電話のカメラ機能で写真撮影する	当社製カメラ付き携帯電話各機種
デジタルビデオカメラやビデオレコーダー（DIGA）などで静止画を撮る	デジタルビデオカメラ： HDC-HS350、 HDC-TM350　など DIGA：DMR-BW950 シリーズ　など

■CD を良い音でお楽しみいただくために

CD レンズクリーナー	RP-CL510

■本機をパソコンに接続するには

USB 接続ケーブル	K2KZ4CB00015

お知らせ

- パソコンから SD へ音楽データを書き込む、「曲のチェックアウト」の回数には、制限がある場合があります。
- 写真データの作成など、詳細は各機種の取扱説明書をお読みください。

お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

保管

■次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）	ページ
miniSD カード /miniSDHC カード /microSD カード /microSDHC カードを使用できますか？	専用アダプターを装着することで使用できます。	10
マルチメディアカード（MMC）を使用できますか？	マルチメディアカードは使用できません。	—
SBR 形式で録音された SD は本機で再生できますか？	SBR 形式は、本機では AAC 形式として再生されます。	—
長期間使用しないのだが、どうすれば？	節電のために電源を切り、電源コードをコンセントから抜いておくことをおすすめします。再使用時には、時計の再設定が必要です。	—
お買い上げ時の音質は？	本機のお買い上げ時の音質は、「ヘビー」（重低音と高音を強調する音質）に設定されています。お好みの音質に設定してお楽しみください。	23
再生時の音質を変えたい	イコライザーの設定を変えてみるのも 1 つの方法です。	23

商標など

Windows Media、Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。
本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。

SDHC ロゴは商標です。

Macintosh、Mac OS は Apple Inc. の登録商標または商標です。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

Made for iPod

「Made for iPod」とは、iPod 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
iPod は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

● 本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部記載していません。

こんな表示が出たら

表示	意味	処理
SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっています。	SD カードが書き込み禁止状態になっています。	SD カードの書き込み禁止スイッチを解除してください。(➔ 5 ページ)
カードがありません	SD カードが入っていません。	SD カードを入れてください。
再生できないカードです	本機に対応していない SD カードが入っています。	本機に対応した SD カード(➔ 5 ページ)を入れてください。
再生できない曲です	本機では再生できない曲データが入っています。	本機に対応している曲データの入った SD カード(➔ 16 ページ)を入れてください。
再生できない写真ファイルです	本機では再生できない写真です。	再生できる写真(➔ 24 ページ)の入ったメディアを入れてください。
再生できないディスクです	本機に対応していない CD-R/CD-RW が入っています。	本機に対応している CD-R/CD-RW をご使用ください。(➔ 14 ページ)
時刻が設定されていないため、時計・カレンダーを使用できません。	時計・カレンダーを使用するには、時刻設定が必要です。	▲/▼で「時刻を合わせる」を選び、時計を合わせてください。(➔ 11 ページ)
写真ファイル異常のため、再生を継続できません。	写真ファイルの再生中に異常が発生しました。	一度メディアを取り出し、写真ファイルが本機に対応しているか(➔ 24 ページ)を確認してから、再度メディアを入れてください。
写真ファイルがありません	選んでいるメディアに写真がありません。	写真の入ったメディアを選んでください。(➔ 24 ページ)
対応機器が接続されていません(MW-10 のみ)	iPod が接続されていません。	iPod を正しく接続してください。(➔ 18 ページ)
	本機に対応していない iPod が接続されています。	本機に対応している iPod をご使用ください。(➔ 20 ページ)
タイマーの開始時刻になりましたが、この画面ではオーディオ再生を開始しません。	タイマーが開始しない画面になっています。	タイマーを設定し直し、タイマーの開始時刻には、標準画面(➔ 12 ページ)にしておいてください。
通信エラーが発生しました(MW-10 のみ)	iPod が正しく接続されていません。	iPod を正しく接続してください。(➔ 18 ページ)
ディスクがありません	CD が入っていません。	CD を入れてください。
読み込みできないカードです	本機に対応していない SD カードが入っています。	本機に対応した SD カード(➔ 5 ページ)を入れてください。
読み込みできないディスクです	本機に対応していない CD が入っています。	本機に対応した CD(➔ 4 ページ)を入れてください。
リモコン側のモードを「モード 1」(または「モード 2」)に設定してください。	リモコンモードの設定が本体と合っていません。	表示されている数字ボタンと[決定]を 2 秒以上押して、リモコン側のリモコンモードを切り換えてください。

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

こんなときは	ここをご確認ください	ページ

■システム全体に共通

こんなときは	ここをご確認ください	ページ
何の操作も受け付けなくなった	本体の［電源 ⏻/I］を約 10 秒以上押したままにして電源を切ってください。それでもうまくいかない場合は、次の操作をして本機をお買い上げ時の設定に戻してください。 ① 一旦電源コードを抜き、本体の［電源 ⏻/I］を押しながら電源コードを接続する。 ② 表示部に「設定内容をリセットしました」と表示されるまで、本体の［電源 ⏻/I］を押したままにする。	—
電源を入れたときに「しばらくお待ちください」が長時間表示される	電源「入」後の動作開始は、内蔵メモリーに写真がある場合や、SD カードを本機に入れている場合、時間がかかることがあります。	—
オーディオの再生中に「ブーン」という音がする	本機の近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。電気器具を本機からできるだけ離してください。	—
	電源コードを逆に差しかえてみてください。	—

■CD

こんなときは	ここをご確認ください	ページ
• CD を入れても、表示が変わらない • 再生ボタンを押しても再生が始まらない	規格外の CD を使用していませんか。	4
	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差で、レンズ部に露付きが生じることがあります。 約 1 時間待ってから使用してください。	—
特定の箇所が正常に再生しない	CD を柔らかい布でふいてください。	5
ディスプレイ部が正しく閉まらない	ディスクが正しい位置にあるかどうか、確認してください。	10

■SD

こんなときは	ここをご確認ください	ページ
SD カードの内容を読み込まない	本機で対応していないカードやフォーマットではありませんか。	5
	本機で対応していないフォルダ階層や拡張子になっていませんか。	24
再生、編集（写真のコピーなど）ができない	SD カードは正しく入っていますか。	10
	SD カード以外のカードを入れていませんか。	5
	SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか。	5

故障かな !?（つづき）

こんなときは	ここをご確認ください	ページ

■ iPod（MW-10 のみ）

iPod を接続しても、認識されない	iPod が対応している機種かどうか、確認してください。	20
iPod 本体で、ビデオ再生ができなくなった	iPod でビデオの設定を確認してください。	—
iPod ビデオ再生の表示が意図しない状態になる	iPod 側のビデオの設定を確認してください。 例：iPod のビデオ設定で、TV 信号を切り換えて「NTSC」に設定してみる、など	—
iPod ビデオ再生ができない	iPod のバージョンを確認してください。	—

■ ラジオ

• FM 放送や AM 放送がうまく受信できない • 雑音、ひずみが多い • 「Y」が点灯しない	FM 簡易型アンテナや AM ループアンテナを接続してください。	6
	アンテナの設置場所や向きを変えてみてください。	—
	アンテナ線と AC アダプターをできるだけ離してください。	—
	送信所が遠かったり、近くに大きなビルや山がある場合は、テレビ用アンテナ端子を利用してみてください。	22
	テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。また、近くで携帯電話の充電をしていませんか。 各機器の電源を切る、または本機と各機器との距離を離してください。	—

■ 写真

サムネイル画面で写真が表示されない	パソコンなどで編集した写真は表示できない場合があります。	—
日付検索が撮影した日付と異なる	パソコンで編集された写真などは、ファイルの更新日時が表示されることがあります。	—
編集（コピーなど）に時間がかかる	ファイル数やフォルダ数が多い場合、編集に時間がかかることがあります。	—

■ リモコン

リモコン操作ができない	乾電池の ⊕、⊖ を正しく入れてください。	10
	新しい乾電池と交換してください。	10
	本体側とリモコン側のリモコンモードが異なっている場合は、リモコン側のリモコンモードを本体と合わせてください。	35
	ディスプレイ部が開いていませんか。 ディスプレイ部を閉じてお使いください。	—
• 本機のリモコン操作で他の機器が誤動作する • 他の機器のリモコンで本機が誤動作する	他の機器が干渉しないように、本機のリモコンモードを変更してください。	35

安全上のご注意　（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■**誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠ **警告**	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ **注意**	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■**お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

🚫	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **映像や音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体に変形や破損した部分がある**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。
・電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。
・コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
・電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
・傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

・電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

・液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

・機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

・特にお子様にはご注意ください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

メモリーカードやねじ類は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

・万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- ディスク、メモリーカードやiPodは、保護のため取り出しておいてください。

ディスプレイ部を開閉するときに指をはさまれないようにする

指に注意

けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。
- 上面の通気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

ヘッドホン接続前に音量を下げる

- 音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。
  音量は少しずつ上げてご使用ください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れ などは

■ まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話　（　　　）　　－
お買い上げ日　　　　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「こんな表示が出たら」「故障かな !?」（➜ 38 ～ 40 ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	マルチメディアオーディオシステム
●品　番	MW-10/MW-7（エムダブリュー）
●故障の状況	できるだけ具体的に

●**保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。**

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

●**保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

- **技術料** 診断・修理・調整・点検などの費用
- **部品代** 部品および補助材料代
- **出張料** 技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間 8 年**
当社は、このマルチメディアオーディオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

■ **転居や贈答品などでお困りの場合は、** 次の窓口にご相談ください

●**修理に関するご相談は**……………………

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

●**使いかた・お手入れなどのご相談は**…

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

■FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

※ ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】

・お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修理確認などのために利用し、残すことがあります。
・個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
・ナンバー・ディスプレイを採用し、折り返し電話させていただくことがあります。
（お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。）

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札　幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭　川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯　広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函　館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青　森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋　田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩　手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮　城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山　形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福　島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃　木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群　馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨　城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼　玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千　葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東　京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山　梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新　潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石　川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富　山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福　井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長　野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静　岡	☎ (054)287-9000	静岡市葵区千代田7丁目7-5
	愛　知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐　阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高　山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三　重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋　賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京　都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大　阪	☎ (06)6359-6225	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈　良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵　庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥　取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米　子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松　江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出　雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜　田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡　山	☎ (086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広　島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山　口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香　川	☎ (087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳　島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高　知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛　媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福　岡	☎ (092)593-9036	春日市春日公園3丁目48
	佐　賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長　崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大　分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮　崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊　本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天　草	☎ (0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大　島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖　縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0509

仕様

■ アンプ部

実用最大出力 (両 CH 動作) (JEITA、6 Ω)	10 W (5 W + 5 W)
入出力端子	ヘッドホン端子： 適合ヘッドホンインピーダンス：16 ～ 64 Ω ステレオミニ（3.5 mm） iPod 端子（MW-10 のみ）：iPod 専用端子 USB 端子：USB2.0 High speed

■ FM チューナー部

受信周波数帯域	76.0 ～ 90.0 MHz（100 kHz ステップ）
アンテナ端子	75 Ω（不平衡型）

■ AM チューナー部

受信周波数帯域	522 ～ 1629 kHz（9 kHz ステップ）

■ CD 部

サンプリング周波数	44.1 kHz
量子化	16 ビット直線
光源	半導体レーザー
波長	795 nm
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	測定限界以下
再生可能ディスク	CD、CD-R、CD-RW
再生可能 フォーマット	CD-DA

■ SD 部

サンプリング周波数 (AAC)	44.1 kHz（SP、XP）/32 kHz（LP）
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）
圧縮 / 伸張方式	SD オーディオ再生：AAC/MP3/WMA 方式

■ 内蔵メモリー部

メモリー容量	4 GB 内蔵メモリー最大記録可能枚数：約 8000 枚 ※保存枚数は内蔵メモリー取り込み時に、圧縮した場合の目安です。枚数は、写真データによって異なります。

■ AC アダプター部

入力	AC 100 V ～ 240 V、51 ～ 72 VA、 50/60 Hz
出力	DC 12 V 2.0 A

■ 写真部

液晶画面	9 型　TFT 駆動
表示アスペクト比	16：9
表示可能なファイル フォーマット (CD/SD/ 内蔵メモリー)	JPEG；Exif2.2、JFIF※1 （プログレッシブ JPEG は非サポート）
最大再生画素数	5120 × 3840
最小再生画素数	64 × 64
最大デコード ファイルサイズ	10 MB

■ スピーカー部

形式	1 ウェイ 1 スピーカーシステム フルレンジ：4 cm × 2　コーン型
インピーダンス	6 Ω
許容入力（IEC）	10 W（MAX）
防磁設計	防磁無し
再生周波数帯域	70 Hz ～ 25 kHz（－ 16 dB） 120 Hz ～ 22 kHz（－ 10 dB）

■ 総合

寸法（幅×高さ×奥行）	252 mm × 202 mm × 150 mm
質量	約 1.9 kg
許容動作温度	0 ℃～ 35 ℃
許容相対湿度	35 % ～ 80 %（結露なきこと）

電源切（スタンバイ※2）時の消費電力：約 0.3 W

※1　4:2:0、4:2:2、4:4:4 形式のベースライン JPEG
※2　iPod 非充電時

• オートパワーセーブについて：本機は、オーディオ再生やメディアの出し入れなどの操作が約 10 分以上ない場合に自動的に電力消費を下げる機能を搭載しています。
• この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
• 本機では、フォントデータの制限により表示できない文字があります。
• 内蔵メモリーにはファイルシステムなどの管理情報を保存している領域があるため、実際に使える容量は少なくなります。また、一般的にメモリーの容量は 1 GB = 1,000,000,000 バイトで計算されますが、本機は、パソコンと同様に 1 GB = 1,024 × 1,024 × 1,024 = 1,073,741,824 バイトで計算しているため、表示される容量は一般的な値よりも少なくなります。

さくいん

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理! エンジョイポイントをためてプレゼントに応募!
アンケートにもご協力をお願い申し上げます。

PC http://club.panasonic.jp/

携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※このサービスはWEB限定のサービスです。

愛情点検

長年ご使用のマルチメディアオーディオシステムの点検を！

こんな症状はありませんか		ご使用中止	
	• 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 映像や音声が出ないことがある • 内部に水や異物が入った • 本体に変形や破損した部分がある • その他の異常や故障がある	▶	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　）　－	品番	MW-10 MW-7
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571－8504 大阪府門真市松生町1番15号

RQT9503-3S
H0809WM3109